

令和6年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会 議事録

1 日 時： 令和6年5月31日（金）午後2時00分～午後4時44分

2 場 所： 千葉市役所4階 L会議室401

3 出席者：

（1）委 員 石井慎一委員（部会長）、観音寺拓也委員、望月悦子委員、霞晴久委員

（2）事務局

（都 市 局）岩田局次長

（都市総務課）佐藤課長、瀧本課長補佐、館主査、池本主任主事

（公園緑地部）小川部長

（公園管理課）佐野運営調整担当課長、和田主査、篠原技師、駿河主任技師

（緑公園緑地事務所）加藤主任技師

4 議 題：

（1）千葉市蘇我スポーツ公園〔蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）、多目的広場（フクダ電子スクエア）、庭球場（フクダ電子ヒルスコート）、第1多目的グラウンド（フクダ電子フィールド）、第2多目的グラウンド（フクダ電子グラウンド）、円形野球場（フクダ電子スタジアム）、第1駐車場、第2駐車場、第3駐車場、公園園地〕、千葉市蘇我スポーツ公園第3多目的グラウンド等〔第3多目的グラウンド（フクダ電子ゴルフパーク）、公園園地〕、及び千葉市蘇我スポーツ公園スケートパーク等〔スケートパーク（フクダ電子ボードエリア）、第4駐車場、公園園地〕の年度評価について

（2）千葉市蘇我スポーツ公園〔蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）、多目的広場（フクダ電子スクエア）、庭球場（フクダ電子ヒルスコート）、第1多目的グラウンド（フクダ電子フィールド）、第2多目的グラウンド（フクダ電子グラウンド）、円形野球場（フクダ電子スタジアム）、第1駐車場、第2駐車場、第3駐車場、公園園地〕、千葉市蘇我スポーツ公園第3多目的グラウンド等〔第3多目的グラウンド（フクダ電子ゴルフパー

ク)、公園園地]、及び千葉市蘇我スポーツ公園スケートパーク等[スケートパーク(フクダ電子ボードエリア)、第4駐車場、公園園地]の総合評価について

5 議事概要：

(1) 議題

ア 千葉市蘇我スポーツ公園[蘇我球技場(フクダ電子アリーナ)、多目的広場(フクダ電子スクエア)、庭球場(フクダ電子ヒルスコート)、第1多目的グラウンド(フクダ電子フィールド)、第2多目的グラウンド(フクダ電子グラウンド)、円形野球場(フクダ電子スタジアム)、第1駐車場、第2駐車場、第3駐車場、公園園地]、千葉市蘇我スポーツ公園第3多目的グラウンド等[第3多目的グラウンド(フクダ電子ゴルフパーク)、公園園地]、及び千葉市蘇我スポーツ公園スケートパーク等[スケートパーク(フクダ電子ボードエリア)、第4駐車場、公園園地]の年度評価について

令和5年度「指定管理者年度評価シート」について施設所管課から説明の後、サービス水準向上、改善を要する点等、次年度以降の管理運営をより適正に行うための意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

イ 千葉市蘇我スポーツ公園[蘇我球技場(フクダ電子アリーナ)、多目的広場(フクダ電子スクエア)、庭球場(フクダ電子ヒルスコート)、第1多目的グラウンド(フクダ電子フィールド)、第2多目的グラウンド(フクダ電子グラウンド)、円形野球場(フクダ電子スタジアム)、第1駐車場、第2駐車場、第3駐車場、公園園地]、千葉市蘇我スポーツ公園第3多目的グラウンド等[第3多目的グラウンド(フクダ電子ゴルフパーク)、公園園地]、及び千葉市蘇我スポーツ公園スケートパーク等[スケートパーク(フクダ電子ボードエリア)、第4駐車場、公園園地]の総合評価について

「指定管理者総合評価シート」について施設所管課から説明の後、指定管理期間の管理状況の総括についての意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

午後 2時00分 開会

【都市総務課長補佐】 それでは、改めまして、委員の皆様、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまより令和6年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を開催いたします。

本日の司会進行を務めます都市総務課課長補佐の瀧本でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、5名のうち4名の委員の皆様にご出席いただいておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項の規定により、本会議は成立しております。

開会に当たりまして、都市局次長の岩田より御挨拶申し上げます。

【都市局次長】 都市局次長の岩田でございます。

昨年度に続きまして、皆様、お忙しい中お集まりいただきまして、本当にありがとうございます。また、日頃から本市の都市行政はじめ、市政各般にわたりましていろいろと御支援、御協力いただきまして、本当に感謝しております。

本日は、蘇我スポーツ公園を対象といたしまして、令和5年度の年度評価に加えて、指定期間の最終年度となりますことから、総合評価を実施させていただきます。蘇我スポーツ公園は、ジェフユナイテッド市原・千葉のホームスタジアムのほか、多様なスポーツができる様々な施設を備えた大規模なスポーツ公園でございますが、市民スポーツ振興の拠点としてだけでなく、近年では野外音楽フェスですとか大規模なイベントの開催などによって、地域の活性化にも寄与しています。また、災害時の防災拠点など、様々な目的を持った施設であるということでございます。

指定期間の最終年度であります今年度は、現指定管理者の管理業務を総括しまして、制度導入の効果、また現指定期間における課題や問題点、こういったものを洗い出しまして、次期指定管理者の選定等に生かしていくために、総合評価を実施して次の管理運営につなげていきたいというふうに考えております。委員の皆様には、それぞれのお立場から忌憚のない御意見を頂戴できればというふうに思っております。

なお、今年度は、千葉マリンスタージアムの年度評価を7月に、蘇我スポーツ公園の次期指定管理者の予定候補者の募集選定を、それぞれ7月と10月にまた予定しておりますので、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、御協力のほどよろしくお願いいたします。

以上、簡単ですが、御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【都市総務課長補佐】 都市局次長の岩田につきましては、本日所用がございますため、これを持ちまして退席とさせていただきます。

(都市局次長退席)

【都市総務課長補佐】 それでは、議事に入る前に、会議の公開及び議事録の作成について御説明いたします。

お手元の資料3「千葉市都市局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等」についてを御覧ください。

本日の会議は、1、会議の公開の取扱いの(2)により、一部非公開としておりますので、あらかじめ御承知おきください。

また、議事録につきましては、2、議事録の確定の(1)及び3、部会の会議への準用により、事務局が案を作成し、皆様に内容を確認していただいた後、部会長の承認により確定させていただきます。

それでは、ここからは石井部会長に議事を進行していただきます。

石井部会長、よろしくお願いいたします。

【石井部会長】 石井でございます。それでは、ここからは私が議事進行をさせていただきます。会議を円滑に進めてまいりたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

初めに、議題(1)千葉市蘇我スポーツ公園〔蘇我球技場、多目的広場、庭球場、第1多目的グラウンド、第2多目的グラウンド、円形野球場、第1駐車場、第2駐車場、第3駐車場、公園園地〕、千葉市蘇我スポーツ公園第3多目的グラウンド等〔第3多目的グラウンド、公園園地〕、及び千葉市蘇我スポーツ公園スケートパーク等〔スケートパーク、第4駐車場、公園園地〕の年度評価についてに入ります。なお、議題の名称が長いため、以下、施設名称で表現をします。

まず、資料8-1、9-1及び10-1、令和5年度指定管理者年度評価シートの1、公の施設の基本情報から7、総括、(2)市による評価について、事務局より御報告をお願いいたします。

【公園管理課運営調整担当課長】 公園管理課の佐野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて説明させていただきます。

それでは、資料8-1、千葉市蘇我スポーツ公園、及び資料9-1、同公園第3多目的グラウンド等、並びに資料10-1、同公園スポーツ公園等の令和5年度指定管理者制度評価シート

について御説明させていただきます。

初めに、資料８－１を御覧ください。

１の公の施設の基本情報ですが、施設名称は千葉市蘇我スポーツ公園です。

ビジョン、ミッションにつきましては、記載のとおりとなっております。

成果指標と数値目標でございますが、蘇我球技場と蘇我球技場以外のスポーツ施設、それぞれについて設定しております。

蘇我球場については、１つ目として、利用者数及び入場者数が年間34万5,000人以上、２つ目として、フィールド稼働日数が年間80日以上としております。

また、蘇我球技場以外のスポーツ施設については、利用者数が年間42万人以上、施設稼働率については、施設ごとに記載のとおりとなっております。

２ページをお願いします。

次に、２の指定管理者の基本情報ですが、指定管理者名はＳＳＰ ＵＮＩＴＥＤ、構成団体は記載のとおりとなっております。指定管理は令和２年４月１日から令和７年３月31日までの５年間となっております。

次に、３の管理運営の成果・実績です。

（１）成果指標に係る数値目標の達成状況でございますが、蘇我球技場については、利用者数及び入場者数の令和５年度の実績は25万4,552人でした。達成率は、指定管理者と市が定める数値目標に対する達成率で、それぞれ72.7%、73.8%となっております。これ以降、指定管理者が市を上回る数値目標を定めているものは、指定管理者と市の数値目標に対するそれぞれの達成率を並んで申し上げます。

フィールドの稼働率の実績は、61日となっております。これに対する達成率は76.3%となっております。

続いて、蘇我球技場以外のスポーツ施設について申し上げます。

まず、利用者数の実績は62万7,196人で、達成率はそれぞれ139.4%、149.3%となっております。

次に、施設稼働率ですが、多目的広場の実績は65.2%で、達成率はそれぞれ97.3%、100.3%となっております。庭球場の実績は63%、達成率は92.6%です。第１多目的グラウンドの実績は59.2%、達成率はそれぞれ89.7%、91.1%となっております。第２多目的グラウンドの実績も37.6%、達成率は117.5%です。円形野球場ですが、実績は39.7%、達成率は76.3%でございます。

では、3ページのほうを御覧ください。

4の収支状況でございます。

(1)の必須業務収支状況についてですが、収支は合計で4億3,418万6,000円となっております。計画と実績の差異ですが、利用料金収入については、計画に対して実績が4,644万3,000円上回りましたが、これは主として令和5年8月のロック・イン・ジャパン・フェス開催による利用日数が増加したことなどから、料金収入が増加したものでございます。その他の収入については、音楽フェスの主催者や自動販売機の設置事業者からの電気使用に係る負担金の収入となっております。

次に、2の支出でございます。合計3億9,326万2,000円で、内訳は、人件費、事務費、管理費、委託費となっております。

計画と実績の差異ですが、人件費については754万5,000円の増となっております。これはイベントの増加による経費の増加、及び人件費単価の上昇によるものです。なお、人件費の上昇は、表中、計画額と提案額の差異の要因の欄に記載してしまっておりますけれども、分かりづらくなってしましまして申し訳ございません。

事務費では、189万7,000円の減となっております。これは紙のパンフレットの需要が減ったことなどによる広告宣伝費、印刷製本費の減によるものでございます。

管理費では、623万4,000円の増となっておりますが、これは天然芝や設備などの管理用資材の価格上昇によるものです。

では、続きまして4ページを御覧ください。

(2)自主事業の収支状況となります。

アの収入ですが、1億5,787万5,000円、イの支出ですが、1億2,499万9,000円となっております。

(3)の収支状況を御覧ください。

必須業務の収支ですけれども、4,092万4,000円の黒字、自主事業の収支は3,287万6,000円の黒字となっております。全体の収支は7,380万円の黒字ということになります。利益の還元につきましては、このほか2件と一体での算出を行いますので、スケートパークの説明の後に申し上げたいと思います。

続きまして、5ページをお開きください。

5の管理運営状況の評価でございます。

(1)管理運営による成果・実績です。

蘇我球技場ですけれども、①の利用者数及び入場者数、年間35万人以上、市の目標が34万5,000人以上、それから②フィールド稼働日数、年間80日以上、これらはともに評価はDといえました。利用者数、入場者数については、令和5年12月から令和6年2月にかけて行っていた音響設備の改修工事に伴って施設を休止していたことから、例年開催している全国高校サッカー選手権大会やその他大会での施設利用がなく、利用者数、稼働日数ともに目標を下回ったものでございます。

続いて、蘇我球技場以外のスポーツ施設ですが、①の利用者数、年間45万人以上、市の目標42万以上の評価はA、②の稼働率の評価は、それぞれの達成状況に応じて、多目的広場から第1多目的グラウンドまでがCと、第2多目的グラウンドがA、それから円形野球場をDとしております。

次に、(2)の市の施設管理経費縮減への寄与でございますけれども、選定時の提案額と同額のため、評価はCとしております。

では、6ページをお開きください。

(3)の管理運営の履行状況でございます。

指定管理者による自己評価は、2の(2)と3の(1)をBとしているほかは、全てCとなっております。市の評価は、2の(1)をDとしまして、2の(2)と4をBとしたほかは、Cとしております。

なお、2の(1)、(2)、4の評価につきまして御説明をいたしますが、2の(1)については評価をDとしております。これは、施設の管理運営の責任者に関しまして、興行やイベント等により休暇取得の対応の調整が難しいケースがあったことから、さらに研修なども重なりまして、事業所に両者とも不在となっていたことがありました。事故などの緊急的な対応が求められる状況ではなかったんですが、適切な体制が確保されていなかった場合があったことを踏まえた評価としまして、Dとしております。

次に、2の(2)でございますけれども、評価をBとしております。園内の植栽管理を従前は外部委託をしておりましたが、これを直営に変更しまして、イベントや大会などの利用のタイミングも考慮して植栽管理を行っていたほか、利用者から要望のあった、蘇我球技場北側エリアのブロック舗装に苔が生えて滑りやすくなっているという状況に対して、定期的に機械による清掃を行って改善に取り組むなど、利用者の安全かつ快適な利用環境の確保に努めていたことを評価したものでございます。

また、4につきましては、蘇我球技場をはじめ、天然芝を用いた施設が複数ございますけれ

ども、施設のコンディションを整えるため、特別提案にあったように、新しい土壌分析の手法を導入して芝の状態を把握するとともに、その情報をチームで共有しつつ、気候や過去の管理状況を踏まえた今後の作業方法を検討するなどの管理手法を導入しまして、品質の向上やきめ細かな管理に努めていたということを踏まえて、評価したものでございます。

7 ページを御覧いただけますでしょうか。

(4) の都市局指定管理者選定評価委員会の意見を踏まえた対応でございます。

昨年度の年度評価の際にいただいた御意見に対する対応・改善の内容ですけれども、1 つ目の「フクダ電子アリーナの芝については、状態が良くなるよう改善に努められたい」という御意見ですが、指定期間当初より土壌環境には課題を抱えておりましたけれども、土壌の硝化や pH を低下させるための土壌改良剤を用いて改善を図った結果、芝の品質が向上し、冬芝については暖冬への対応などの課題はあるものの、有効な資材を取り入れて柔軟に対応していくということとしております。

2 つ目の「アンケートについては、紙ではなく携帯で手軽に実施できる仕組みなどを導入し、しっかりと利用者からの意見聴取をお願いしたい」という御意見ですが、構成企業であるジェフ千葉の公式 SNS を利用しまして、試合時のアンケートに施設関連項目を設定して、ハード・ソフト面での要望・問題を洗い出しました。

次に、6 の利用者ニーズ・満足度等の把握でございます。

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査ですが、蘇我スポーツ公園は施設の受付窓口が 4 か所ありまして、窓口によって対応する施設が異なるため、アンケートも窓口ごとに実施しております。実施内容、回答数、質問項目については、それぞれ記載のとおりとなっております。

結果についてですけれども、順次かいつまんで申し上げると、蘇我球技場のアンケートでは、J リーグの来場者が男性が 65% と多めであって、40 代から 60 代の方が 8 割を占めるなど、年齢層も高めという傾向が見えてまいりました。飲食メニューのマンネリ化やキャッシュレス決済の種類を増やすことなど、運営面に関する要望があったほか、通信環境の改善や和式トイレの洋式化など、設備に対する要望も寄せられておりました。

次に、指定管理者のメールマガジンを活用した公園全体を対象としたアンケートでは、ランニングコースの表示、どこにあるというような表示や、距離の目安になるものの設置、それから蘇我球技場の女子トイレの和式の洋式化、雨天時のブロック舗装の一部エリアでの滑りやすさ解消、先ほど申し上げた苔が生えて滑りやすいと申し上げたところですが、そういったことについての解消の要望が寄せられておりました。

それぞれの施設の受付窓口で行ったアンケートについてですけれども、主にサッカーや野球利用の受付窓口となっておりますスクエア管理棟のアンケートでは、男性の利用者の割合が8割程度を占めておりました。サッカーで利用されることの多い多目的広場、フクダ電子スクエアと申しますが、そちらと、あと第1多目的グラウンド、フクダ電子フィールドのことですが、これらにつきましては10代から20代の利用者が中心となっている一方、第2多目的グラウンドや円形野球場、その利用者は幅広い年代層に利用されているという傾向が見えております。

自由意見としましては、日よけや雨よけが欲しい、更衣室のシャワーの増設をしてほしい、グラウンドへの水場の増設、それから円形野球場へのバックスクリーンの設置といった要望が寄せられておりました。

次に、テニス利用者の受付窓口のヒルスコート管理棟で行ったアンケートですが、利用者の男女比はほぼ均等、40代から60代がおおむね6割を占めていて、居住者は市内が7割、そのうち、特に公園が位置しております中央区にお住まいの方は、7割の中の4割を占めておりました。

自由意見としましては、令和4年から5年にかけて張り換えた人工芝を好意的に受け止めていただいている意見があったほか、3つの駐車場、第1、第2、第4駐車場の出入口が1か所となっておりますことから、混雑しているときには出庫に時間がかかるということでの苦情、それから暴風や日よけに関する要望も引き続き寄せられていた状況です。

それでは、次に8ページを御覧ください。

(2)の市・指定管理者に寄せられた意見と苦情と対応でございます。

「イベント時の通信環境が悪い」との意見については、これまでも大規模なイベント開催時などに意見をいただくことがありました。蘇我球技場の通信環境につきましては、主にイベント主催者が使用する4階エリアにはWi-Fiアンテナを設置して、改善を図りました。一般利用者の通信環境については、各携帯キャリアにヒアリングを行って、実施可能な方法について今模索を行っているところでございます。

次に、7の総括でございます。

指定管理者による自己評価ですが、こちらはCとなっております。所見について要点を申し上げますと、おおむね管理運営の基準にのっとり、良好な管理運営を進められた。コロナの影響が顕著であった蘇我球技場、稼働率が低かった円形野球場の利用が増加傾向にあり、音楽フェスの運営にも積極的に参加し、園地管理においても指定管理者が直接作業を行うなど、美観維

持・向上に努めたとのことです。

次に、市による評価については、こちらでもCとしております。施設の維持管理においては不具合・破損が発生した場合や、園地管理では直営対応も含めて速やかに対応するとともに、2つの音楽フェス、Jリーグのパブリックビューイング開催、各種スポーツ教室の開催など、利用促進を図っていました。

なお、責任者が不在となる場合があったことから、体制面での課題が見受けられたものの、全体としては高い水準での管理運営が行われていたものと評価をしております。

以上で資料8-1の説明を終わります。

続きまして、第3多目的グラウンド等の年度評価シートの説明を行います。

2冊目のファイルの資料9-1をお開きください。

先ほどの資料8-1の説明と重複する箇所は、適宜省略させていただきます。

初めに、1の公の施設の基本情報ですが、施設名称は千葉市蘇我スポーツ公園第3多目的グラウンド等です。

ここで、参考資料7の千葉市蘇我スポーツ公園平面図の裏面を御覧いただきたいと思います。平面図になります。こちらでございます。その裏側のページを御覧いただきたいんですが。

今回の第3多目的広場等、対象区域になりますけれども、図の右下のエリアに赤色の線で囲んでいるところにフクダ電子ゴルフパークがございますが、その周辺の園地——失礼しました。ごめんなさい。ちょっと裏面ではなくて、中表紙を開いてすぐのページになりますが、赤色の線で区域を示している、施設ごとのまとまりを示している、こちらの絵柄で御覧いただきたいんですが、フクダ電子ゴルフパークとその周辺の園地がこの対象となっております。

それで、これらの施設についての評価についてこれから申し上げますが、まずビジョンとミッションについては記載のとおりとなっております。

成果指標と数値目標についてですけれども、利用者数が年間4万人以上、専用使用件数が年間150件以上となっております。

2の指定管理者の基本情報は、指定管理者はSSP UNITED、指定期間は令和3年9月1日から令和7年3月31日までの3年7か月となっております。

3の管理運営の成果・実績でございますけれども、(1)の成果指標に係る数値目標の達成状況ですけれども、利用者数は年間4万人以上、実績は5万7,639人で、達成率は144.1%、専用使用件数は、年間150件以上に対して、実績は44件、達成率は29.3%となっております。

2ページを御覧いただけますでしょうか。

4の収支状況になります。

必須業務の収支状況について申し上げますが、収入については、指定管理料及び利用料金収入で、合計で5,326万3,000円となっております。計画と実績の差異ですけれども、指定管理料は計画と実績で同額となっております。

なお、提案に対し計画が220万円上回っておりますけれども、これは当初、施設を追加整備した経緯がございまして、管理項目が追加となったことから、管理運営の基準の一部変更に伴って、委託料を増額したことによるものでございます。

利用料金収入ですけれども、これは計画に対して実績が793万2,000円下回っております。これは利用が伸びなかったためでございます。

次に、支出でございます。

合計で6,314万6,000円でございます。計画と実績の差異ですけれども、実績が上回ったものは、人件費で98万3,000円、管理費が106万8,000円で、それぞれ人件費の単価上昇、芝管理資機材の価格上昇に伴って増額となっております。

3ページを御覧いただけますでしょうか。

(2)の自主事業の収支状況です。

アの収入ですけれども、61万9,000円、イの支出ですが、5万6,000円となっております。

(3)の収支の状況ですけれども、必須業務の収支につきましては、988万3,000円の赤字、自主事業の収支は、56万3,000円の黒字となっております。利益の還元につきましては、先ほど同様、スケートパークの後でまとめて申し上げたいと思います。

次に、5の管理運営状況の評価でございます。

(1)管理運営による成果・実績ですけれども、①の利用者数、年間4万人以上の評価はA、②の専用使用件数、年間150件以上の評価はEとしております。

では、4ページを御覧ください。

(2)の市の施設管理経費縮減への寄与でございます。

仕様変更による指定管理委託料の増額があったというのは先ほど申し上げたとおりですが、それを除けば選定時の提案額と同額のため、Cという評価にしております。

(3)管理運営の履行状況です。

指定管理者による自己評価は、2の(2)と3の(1)の評価がBとなっているほかは、Cとなっております。これに対して市の評価は、指定管理者と同じとなっております。

評価をBとした2つの項目がありますが、こちらにつきましては、暖冬の影響により芝の成

長が続いて、状況に応じて作業回数を増加するなどの柔軟な対応を行ったこと、それから、市の教育委員会が行っている事業で「ふれあいパスポート」というものがございますが、こちらに協力しまして、土曜日の小中学生のパークゴルフの利用を無料化したことなどを踏まえて、評価を行ったものでございます。

続きまして、5ページを御覧ください。

(4)の都市局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応でございます。

1つ目の「県外を含めて施設の存在を知ってもらい、団体の専用使用や新たな使用者の発掘をし、収支状況の改善に向けて努力されたい」との御意見に対しては、指定管理者スタッフが全日本ターゲットバードゴルフ協会に所属しまして、東京都協会などにPRを行って、数回の利用につながったなど、こういったのも団体利用の誘致や利用促進に努めているとのことでございます。

2つ目の「小学校へのチラシ配布の取組が効果的ではばらしい。継続して取り組んでいただきたい」との御意見については、現在も継続して実施しており、家族連れの利用者が増加しているということでございます。

次に、6の利用者ニーズ・満足度等の把握です。

(1)の指定管理者が行ったアンケート調査ですが、実施内容は、先ほどの資料8-1の御説明でも申し上げましたが、9月から11月にかけてアンケート調査を4回実施しておりまして、181件の回答が得られました。利用者は男性が6割を占めており、年齢層は当初高齢者が多かったものの、近年はファミリー層が増えて、様々な年代の方に利用されるようになりました。居住地は8割が市内で、そのうち4割が中央区在住となっております。

施設を認知したきっかけにつきましては、指定管理者もしくは市のホームページが合計で4割、口コミが3割、公園の利用時に見つけた方が2割となっております。

施設については、芝の手入れやスタッフの対応が評価されていたほか、自由意見として、クロークやロッカーの設置をしてほしい、日曜日に利用できるコースを変更してほしい、それから東屋の増設、ホームページの自転車バイクの駐輪場の案内、飲食サービス、体験会、イベントなどに対する要望が寄せられていました。

次に、(2)の市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応でございますが、1つ目の「東屋がもう少しあると涼しくなるとよい」との御意見については、夏季期間中はテントを設置して日陰の確保を図っております。

2つ目の「自転車バイクの駐車場の場所がネットに載っているとよかった」との御意見につ

いては、10月より第4駐車場内に駐輪場を設置しまして、ホームページで御案内をしているほか、メルマガでも周知を図りました。

3つ目の「休憩・食事する場所が欲しい」との御意見については、昨年度も要望いただいております。仮設ベンチを設置して対応しております。また、飲食については、6年度よりキッチンカーを配置することを計画しています。

では、6ページを御覧ください。

7の総括でございます。

指定管理者による自己評価はCとなっております。音楽フェスの盛況を受けて、利用者数は増え、小学校へのチラシ配布のほか、民間サービスを活用してポスティングを実施、施設の認知度向上と利用促進を図り、「ふれあいパスポート」の効果もあって、親子連れの利用が増えるなど、成果を感じている。一方、課題である団体利用者へのアプローチを積極的に行い、専用利用の目標数値を上向きに改善できるよう、継続的な誘致活動に注力したい。コース管理は細やかに行い、高評価を得るに至っているとのこと。

これに対して市の評価は、Cとしております。所見としましては、音楽フェスの利用者数の増によって目標は達成していますが、スポーツ施設としての利用者は依然として低調であり、専用使用件数についても目標を達成できませんでした。一方、近隣小学校へのチラシの配布の継続、「ふれあいパスポート」への協力や「市民の日」に伴う無料開放などを実施して、施設の認知度向上に努めるとともに、コース等の維持管理では、音楽フェスや暖冬による芝への影響を抑制するため、丁寧な管理に努めていましたとしております。

以上で資料の9-1の説明を終わります。

続けて、10-1、スケートパーク等の年度評価シートの説明を行います。10-1をお開きください。

先ほど同様に、説明が重複する部分については適宜省略させていただきます。

初めに、1の公の施設の基本情報ですけれども、施設名称は千葉市蘇我スポーツ公園スケートパーク等です。

ここで先ほどの図面をもう一度ちょっと御覧いただきたいんですけども、こちらの図面の黄色い線で囲んでいるエリア、スケートパーク、第4駐車場、それからレクリエーション広場、みどりの丘と呼んでおりますが、こちらの施設がこの評価の対象となっております。

評価シートのほうに戻りますが、まず初めにビジョン、ミッションですけれども、これは第3多目的グラウンド等と同じ内容になっております。

成果指標と数値目標についてですが、利用者数として年間9,500人以上となっております。

2の指定管理者の基本情報ですけれども、指定管理者名はSSP UNITED、指定期間は令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間です。

3の管理運営の成果・実績です。

(1)の成果指標に係る数値目標の達成状況でございますけれども、利用者数の数値目標は年間1万人以上で、実績は1万2,274人、達成率は122.7%となっております。

2ページを御覧ください。

業務の収支状況でございます。

(1)の必須業務収支状況について、収入は2,632万7,000円です。計画と実績の差異ですけれども、利用料金収入は、第4駐車場の利用の増加などが影響して、計画に対して実績が192万5,000円上回っております。

次に、支出ですけれども、2,436万1,000円です。計画と実績の差異ですが、人件費が45万5,000円の増となっておりますが、これは人件費単価の上昇によるものです。事務費は計画に対して実績が22万円の減となっておりますが、これは印刷製本費が減少したため、管理費は計画に対して27万6,000円の減となっておりますけれども、これは供用開始の初年度であったことから、主に修繕費がかからなかったことによるものでございます。

3ページのほうを御覧ください。

(2)の自主事業の収支状況です。収入は24万7,000円、支出は合計で72万1,000円となっております。

(3)の収支状況でございますけれども、必須業務の収支は196万6,000円の黒字で、自主事業については47万4,000円の赤字となっております。

利益還元につきましては、御説明済みの資料8-1、9-1の収支を含めた全体で算定すると申し上げておりました。

ここで補足資料の1を御覧いただきたいと思います。

資料の利益還元シートでございます。こちらの表は各施設の収支状況を転記したものでございますが、表の右側の合計の列を御覧ください。利益還元の計算はこの合計の額に基づいて行っております。

まず、合計の列の一番下を御覧いただきますと、収支の額が6,597万2,000円となっております。この額が下から3番目に記載しております総収入の額、6億7,251万7,000円の10%を上回った場合、利益還元を行うこととしております。しかしながら、その10%の額につきましては、

6,725万1,000円で、収支の額のほうが少ないので、今回、利益の還元はなしということになります。

また年度評価シートのほうにお戻りいただきまして、3ページを御覧ください。

3ページの一番下、5の管理運営状況の評価でございます。

(1) 管理運営による成果・実績ですけれども、施設利用者数、年間1万人以上については、達成率が122.7%でしたので、市の評価はAとなっております。

4ページを御覧ください。

(2) の市の指定管理経費縮減への寄与でございます。選定時の提案額と同額のため、C評価となっております。

続きまして、(3) の管理運営の履行状況です。指定管理者による自己評価は、1と3の(2) の評価がCとなっているほかは、Bとなっております。これに対して市の評価は、仮設照明の設置によるナイター営業など、利用者サービスの向上に積極的な取組はあるものの、基本的には管理運営の基準に定める水準に沿った取組であることから、いずれもCとしております。

次に、5ページを御覧ください。

(4) の都市局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応でございます。本件の選定時にいただいた御意見に対する対応・改善の内容について御説明します。

1つ目の「スケートボードの流行が去った後でも、施設として長く使用されるような工夫をお願いしたい」との御意見については、様々なストリートスポーツを楽しむストリートスポーツキャンプ体験会をベースに、インラインのスケートスラロームデモを開催するとともに、次年度に向けてコミュニティーの場やにぎわいづくりのイベント、飲食販売の検討を行いました。なお、今年度より実施を予定しております。

2つ目の「利用者のマナーづくりは努力が実を結んでおり、現在の良い状態が継続するよう努められたい」との御意見ですけれども、マナー啓発のため、メールマガジンで定期的に発信しました。また、マナー強化期間を定期的に設けて、スタッフへの意識づけや、利用者には園内放送や受付の際の声かけなどを予定しております。

次に、6の利用者ニーズ・満足度等の把握です。

(1) の指定管理者が行ったアンケート調査ですけれども、本施設については5月から11月にかけて実施しており、253件の回答が得られました。

結果をかいつまんで申し上げますと、利用者は男性が7割で、年代は10代から20代が4割を占

めておりました。学年別では小中学生が4割と、若年層の利用中心となっております。また、居住地は、市内在住が4割、それから県内が2割となっておりますが、大会開催時などは県外からの利用者も多くいらっしゃるということが分かっております。それから、施設の認知のきっかけについてですが、指定管理者のホームページが4割、インスタグラムが2割を占めております。その他、利用に当たってのルールの説明など、スタッフの対応に対する評価がよく、施設自体に対しても「満足」とする回答が多く、良好な評価が得られているものと考えます。

自由意見については、セクションに対する改善要望や街灯を明るくしてほしい、日陰が欲しい、軽食販売をしてほしいなどの意見が寄せられておりました。

次に、(2)の市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応でございますが、1つ目の「バンクの下にボードが入らない工夫をしてほしい」については、セクションの下にある隙間にボードが入り込んでしまわないよう、板状のゴムで塞ぎました。

2つ目の「小石があり危険」については、適宜清掃を行い、重点点検項目として清掃の頻度を増やしております。

3つ目の「日陰／日よけが欲しい」については、状況に応じて施設内や周辺にテントを設置して対応しました。

4つ目の「街灯を明るくしてほしい」については、施設内の照明灯の照度を高める検討をしましたが、既存施設の改修が難しいことから、営業時間内の仮設照明を設置して対応することを検討することとしております。

5つ目の「ワゴンなどでコーヒーや軽食販売してほしい」については、イベント時、公園内キッチンカーを配置することを計画しております。

次に、7の総括です。

指定管理者による自己評価はBとしております。本年も大きな事故や利用者トラブルなどもなく運営でき、利用者数は目標の1万人をクリアしたけれども、利用者数が1,000人を下回る月も出始めていて、今後は、利用者の意見を反映してイベント開催やスクール事業など、積極的に検討していきます。また、利用者マナーのよい施設を目指しているため、利用者、職員ともマナーの向上を啓発する期間を定期的に設けるなど、現状に甘えることなく、利用促進や稼働率向上に努めていくということです。

これに対して、市の評価はCとしております。令和4年度と比べ利用者数は減少したものの、成果目標は達成することができました。ナイター営業を週2日実施して、小中学生の利用を可能としたほか、体験会の開催や競技会の誘致を継続的に実施して、利用者数の確保に努めてい

ました。設置した監視カメラや放送設備の活用に加えて、受付での掲示やメルマガ等での発信を積極的に行い、利用者のマナーの啓発に努めています。今後も利用者を確保していくため、スクール事業や、フクダ電子ゴルフパークとも連携したコミュニティー広場の設置について、検討していただきたいとしております。

長くなりましたが、説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

【石井部会長】 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の御報告に対しまして御質問等ございましたら、委員の皆様、お願いいたします。

どうぞ。

【霞委員】 さっきの御説明の中で蘇我スポーツ公園ですけれども、統括責任者や副統括責任者不在の日があったということで、それって、資料についておりますモニタリングレポートを見ると、これ2回モニタリングを実施されていて、どちらの日でも、たまたまですかね、この不在だったということでしょうか。

【公園管理課運営調整担当課長】 これは半年に1回行うモニタリングになりますので、そのときに期間中の実情を確認したということでございまして、たまたまモニタリングに行った日が不在だった、ということではありません。

【霞委員】 そういうことではないと。

【公園管理課運営調整担当課長】 はい。

【霞委員】 分かりました。このモニタリングは、事前予告ありのモニタリングでしょうか。

【公園管理課運営調整担当課長】 そうです。スケジュール調整をした上で行っております。

【霞委員】 だったら、いらっしゃらないということは通常は考えられないと、その日に。

【公園管理課運営調整担当課長】 はい、そうです。

【霞委員】 分かりました。ありがとうございます。

【石井部会長】 そこは具体的にはどのような問題点があったんでしょうか。最初的时候に、最初の前期のモニタリングで出てきて、そこで当然指摘をしているかと思うんですけども、また後期のほうのモニタリングに出てきている、それはどういったことだったのか、御説明いただければ。

【公園管理課】 当初、5月にフェスが開催されていまして、どうしても統括責任者、副統括責任者がそこで出勤が重なってしまうということがありました。そのイベントが終わった後に週休休暇とか、あとは必要な有給休暇を取得するということがあったんですけども、その段

階でも基本的には責任者誰か1名いるというような状態でやってはいただいたんですが、どうしても職員の忌引きであるとか、あとはちょっと病休が重なってしまったということがありました。避けざるを得ない事情はあるんですが、指定管理者の提案にも統括責任者、副統括責任者、誰か1名はいるというような状態が書かれておりますので、そういった中で対応できる体制を整えてほしかったなというところで、2回ともバツとさせていただいています。

【石井部会長】 どうぞ。

【霞委員】 1回目のときにはもう既に問題が発覚していて、それをこのフィードバックされたと思うんですけども、その対応もうまくできていなかったということでしょうか、3月においても。

【公園管理課】 下半期、やはりどうしても10月や11月にスポーツの大会などが集中してしまうので、改善されていない状況が見受けられましたが、現場で何かあった場合は、ちゃんと責任者を通して、休日であろうと責任者から市に連絡が行くよう、令和6年度からは指定管理者の責任者と現場の連絡体制を確保するためグループチャットのようなものを作成することを検討させていただいています。令和6年度は毎日のように電話をしています、統括責任者、副統括責任者がいずれもない状況は発生しておりませんので、指定管理者のほうでも強く意識しているとは思いますが。

【石井部会長】 病欠、忌引き等でたまたま重なるということはやむを得ないこともあるかと思うんですけども、そのときに、じゃその2人とか3人とかいなくても、市との連絡どうするのか、そういう体制とかというのはできていたんでしょうか。できていないから、今度ちゃんとやってねという話にしてあるんでしょうか。

【公園管理課】 何かあったときに現場の方から直接、市のほうに連絡が来るということがありましたので、責任者が把握した状態で市に報告するという体制を整えていただくよう、指導しているところであります。

【石井部会長】 どうぞ。

【観音寺委員】 8-1の4ページですが、自主事業が令和4年度に比べて、令和5年度で収入で約4,000万、支出でも3,000万ぐらい、都合1,000万ぐらいプラスになっていますが、この理由はやっぱりフェスなんですか。

【公園管理課】 フェスの収入が増えています。

【観音寺委員】 ありがとうございます。必須業務のほうでの5,000万ぐらい増えて、支出はそんなに増えていないので、4,000万ぐらいフェスで増えているということで、フェスで5,000

万ぐらいのプラスになっているということでもいいですか。

【公園管理課】 、フェスの規模が大きくなることで、設営と撤去の期間が従前よりもちっと長くなった。その期間は、待機場所として駐車場を使っているんです。そうすると、第4駐車場ができましたけれども、その319台分の大体250ぐらいをほぼ一月ぐらい借り上げていただいています。

【観音寺委員】 その収入ということでしょうか。

【公園管理課】 そうです。250台掛ける700円掛ける日数ぐらいのものが入ってくるので、かなり駐車場代が増えています。

【観音寺委員】 それは自主事業なんですか。

【公園管理課】 それは受託事業です。集客が増えれば増えるだけその分、お金のやり取りも、共同で一緒にやっていますので、入ってきているものがあるそうです。

【観音寺委員】 自主事業の具体的なものというのは何なんですか。

【公園管理課】 自主事業といいますと……

【観音寺委員】 飲食とかですか。

【公園管理課】 フェスの際のことですか。

【観音寺委員】 フェスの際というか、4ページにある自主事業が売上げ、4,000万ぐらい収入が増えているということの、フェスということなんですけれども、フェスで自主事業でどんなものがありますか。

【公園管理課】 フェスですと、仮設に指定管理者のほうで飲食売店を設置したりとか、あと、大きいところでいうと、フェス側が、利用者が動線を確認するために、有料公園施設を囲んでいるフェンスを撤去したりするということがありますが、それを指定管理者が代わってやっているというところがあります。

【観音寺委員】 フェス側からそれで収入をもらうということですか。

【公園管理課】 収入を得ているというところです。

【観音寺委員】 売上げが立つのですね。

【公園管理課】 はい。

【観音寺委員】 そういうものがあるんですね。

【石井部会長】 今の点なんですけれども、事業報告書8-6の添付資料の198ページに、自主事業の収入内訳書（決算）と出ているんですけれども、これを見ながらちょっと説明をしてもらえますか。

【公園管理課】 自主事業でいいますと、フェス以外のところでいうと、アリーナのところでＪリーグの興行の際に飲食売店が販売していたりとか、あと公園内で自動販売機を指定管理者のほうで設置しておりますので、そういったところが主な自主事業の収入になっているかなというところと、あとは、スポーツ教室なんかも開催をしたりしますので、庭球場でありますとか、そういったところで収入が発生しているというところですよ。

【公園管理課】 フェス関係の収入に関しては、このアリーナの自主事業の収支に全て載っております。各施設に分散するのではなくて、ここのアリーナのところに載っているイベント関連というのがそうです。

【観音寺委員】 何ページですか。

【公園管理課】 ８－６の198ページと下に振っております。収支予算書のところの。

【観音寺委員】 ありがとうございます。

あと、もう一点、８－１の８ページ、「イベント時の通信環境が悪い」という御指摘で、こちらの補足資料のほうでも、ちょっとページないですけども、通信環境が悪いということで声を多数いただいている。Ｊリーグ等、大型集客行事の開催には全くつながらない。「災害時に心配」という声も上がり、施設側としても最大の課題と考えていると。フェスの際にも同様の事象が起きていると。キャリアへのヒアリングや民間のネットワーク整備事業者の現地調査を行っている。現状は具体的な解決策を見いだせずにいるということで、結構これは大きな問題だなと思っています。フェスもそうですし、Ｊリーグ観戦もそうですし、基本、携帯、スマホがつながらないってあり得ない話で、また、キャリア等を聞いても、現状、解決策が見つからないって、どういうことなのかなというのが正直思うところなんですけれども、前からこうなんでしたっけ。

【公園管理課】 前からイベント時は電波の状態が悪いということは話が上がってきておりまして、こちらも指定管理者ではやっぱりどうにもできません。

【観音寺委員】 そうですね。

【公園管理課】 課題ですので、市のほうでも対策していかなければいけないと思っております。今考えているところでは、Ｊリーグの興行の際は、フクダ電子アリーナの上に各キャリアのアンテナが設置されておりますので、指定管理者からキャリアに相談をしていただき、今回はキャリアから市のほうに御相談をいただいているところなんですけど、新しいアンテナを新設したり、あとは増設ができるように、うちのほうでも検討しているところなんですけど、屋根の安全性を確かめる必要がございます、その安全性を確かめた上でアンテナの増設というところ

ろを考えています。そのため市のほうで動いていくべき事案だということで捉えております。

【観音寺委員】 要は、一気に人が集まり過ぎて、みんながパケットを使い過ぎちゃうからうまくつながらないということで、アンテナの増設で何とかなるということでしょうか。

【公園管理課】 そうですね。あとは、公園の園地に各キャリアの共同アンテナの基地を建てようということでも考えてはいるんですけども、なかなかほかの公園、他都市の事例ではちょっと見られないものですから、こちらもどのような手続を踏めばそういったものを設置できるかという、事例検証も今後していかなければいけないですので、その2点については市としても問題として捉えているところではあります。

【観音寺委員】 実際、フェスは多分若いお客様が多いと思うので、それが悪いということで、相当苦情がたまって、蘇我での開催をやめようかみたいな話になってしまうと、それ自体のネガティブな情報になってしまいますので、ぜひそこは市が率先して御対応いただけるようお願いできればと思います。

【霞委員】 すみません、収支の話に一度戻ってよろしいですか。

【石井部会長】 もちろんどうぞ。

【霞委員】 すみません。

さっきの自主事業の収支の内訳の中で、162ページ、ちょっと御覧いただきたいんですけども、支出ですね、今収入の話があったんですけども、8－6の162ページに収支の内訳がありまして、支出のほうが自主事業、1億2,500万計上されていて、そのうち約半分がイベント誘致というもので6,300万計上されていますけれども、これの中身、どんな支出なのかということと、前年がどれくらいの規模だったかというのを教えていただけますでしょうか。

【公園管理課】 すみません、ちょっと前年のどのくらいの規模かというのは今……

【霞委員】 分からない。

【公園管理課】 そうですね。

【霞委員】 どういう支出ですか、これは。

【公園管理課】 支出でいうと、やっぱり大きいところは、フェスの際の、ちょっと先ほど申し上げたところに重なるんですが、フェンスを撤去するということ……

【霞委員】 ああ、フェンスの撤去費用。事業費の中のイベント費用だ。ごめんなさい。事業費の中です。

【公園管理課】 イベント誘致と。

【霞委員】 そうです。はい。

【公園管理課】 事業費のイベント誘致というところですね。

フェスの際にフェンスの撤去の指定管理者から事業者へ撤去を委託するのに、その支出が一番大きいところかなとは考えているんですが、ちょっとすみません、その詳細は……。

【霞委員】 一番ちょっと目立つ支出が、金額が大きいものですから、何かなと思って。

【公園緑地部長】 すみません。多分、今ちょっと把握ができていないので、今、すぐ確認をさせていただければと思います。

【霞委員】 よろしくをお願いします。

【石井部会長】 今のは、自主事業の同じページの収入のほうで、アリーナのイベント関連のところに事後清掃費等ということで、9,815万入ってきているのがありますけれども、これをもって、その中から何らかの形のこの6,359万が出ていっているというような考え方なんでしょうかね。何かの委託とかで受け取って、それをまたさらにどこか出すのに払っていると。それを今、確認されているということですね。

【公園緑地部長】 すみません。表記も「誘致」という表記になってしまっているのです。すみません、多分その辺がちょっと。

【石井部会長】 そうですね。これだけだと、呼んでくるのにこれだけお金使っているのかって見えちゃうので。

【公園緑地部長】 すみません。申し訳ありません。

【霞委員】 うがった見方をすると、事業者にリベートでも払ったかと思って。

【公園緑地部長】 そんなふうに文字だけで見ると。すみません。

【石井部会長】 では、ほかの点でいかがでしょうか。

【霞委員】 それでは、モニタリングの中でやっぱりバツがついている項目が1つありまして、ちょっと気になったんですけれども。

【石井部会長】 8-3の11ページですかね。

【霞委員】 8-3です。8-3で、スクエア備品チェックに漏れが多かったということで、同じ指摘だったんですけれども、上半期は丸で下半期はバツになっているので、この辺の事情をちょっと教えていただけますでしょうか。

【公園管理課】 これは備品の確認は年2回、指定管理者に貸与する市の備品を確認するという機会があります。

【霞委員】 市の備品を。

【公園管理課】 はい。市で持っている備品台帳と指定管理者で持っている備品台帳を照らし

合わせて、それにずれがないかというのを確かめる作業なんですけれども、基本的には全ての施設で大体そろってはいたんですが、一部スクエア管理棟の備品がちょっとそろっていないというところ、上半期、下半期とちょっと立て続けにありまして、上半期はそんなにずれがなかったのですが、今後注意してくださいというところで丸にしたんですけれども、下半期のほうでもやはりずれが出てしまったというところなんです。

【霞委員】 ずれが増えたということでしょうか。

【公園管理課】 そうですね。ただ、ほかの施設ではそろっているというところもありますので、そこはほかの施設からちゃんと指導をさせるとか、あとは、責任者のほうで直接そこについて指導させて、ちょっと令和6年度の様子を見守りたいというところなんです。原因としては、廃棄したものを本来は市に廃棄申請をしなければいけないんですが、ちょっとそれを怠ってしまったということが発覚しまして、あとは、備品をこの場所から別の場所に勝手に移動させている、それを市に報告がなかったりということがありましたので、そういった際にちょっとずれが生じてしまうという問題がありまして、そこについて注意をして、統括責任者から確実にやるようにということで、今後の状況を見守っていきたいかなと思っています。

【石井部会長】 今の点なんですけれども、8-3って下期のモニタリングレポートですよ。その下期のモニタリングレポートの11ページのところで、下半期に指摘をした備品チェックに引き続き漏れや不備が多いとあるんですが、ここで言っている下半期というのは令和4年度の下半期に指摘をしたということなんですか。

【公園管理課】 いえ、こちらは令和5年度の下半期です。

【石井部会長】 だって、令和5年度の下半期のレポートがこの8-3ですよ。その中で下半期に指摘をしたものに引き続き多いというのは、おかしくないですか。そうすると、令和4年度の下半期に指摘をしていたけれども、それがまだ引き続いて令和5年度の下半期まで多いよというように読めるんですけれども。そうだとしたら、引き続き漏れているということは、令和5年度の上半期でも漏れていたんですか、それとも上半期は解消していたんだけど、また下半期になったら漏れちゃったということなんですか。

【公園管理課】 こちらは多分記載ミスで、上半期に指摘をしたことの対応の漏れが多いというところで書かせていただこうと思っていたところなんですけれども、そこを下半期にという記載にちょっとなってしまいまして、令和4年度に備品の漏れがあったということではなくて、上半期にあったものが引き続いて令和5年度の下半期に見られたというところで、ちょっとこちらは記載ミスとなってしまっています。申し訳ありません。

【石井部会長】 そうしたら、令和4年度のモニタリングレポートを見ても、その点は指摘はされていない、出てきたりはしないということでもいいんですよね。

【公園管理課】 していないはずではありますが、確認します。

【石井部会長】 後でちょっと念のために当たってください。もしそっちにも出てきていたとしたら、3期連続でおかしいじゃないかという話にもなるので。

どうぞ。

【望月委員】 ミッションは大きく分けると、イベントを誘致するという外部向けのものと、市民のためのスポーツの場という市民向けのものと2つあると思います。それらのミッションに対する成果を、利用者数や、あるいは施設稼働率の数値で見ていきたいと思いますということだと私は理解しています。蘇我球技場以外のスポーツ施設は、利用者数が大幅に増えて、達成率が非常に高い数値になっている一方で、施設の利用率のほうで見ると、一部少ない施設もあるようです。その辺のバランスを見比べたときに、利用者数に基づく達成率が高くなっているのは、例えばフェスとか、やはり外部向けのミッションによる効果なのかなと思います。もう片方のミッションである、市民のスポーツの場に対してはどのように評価されていますか。

【公園管理課運営調整担当課長】 そこは、すみません、この目標値を設定したときに、特に何で何人という区別をしていません。

【望月委員】 そうなんですよ。

【公園管理課運営調整担当課長】 してしまうということにはなっているんです。

【望月委員】 何となくこの数字のバランスを見ると、そのように推察されるのですけれども。

【公園管理課運営調整担当課長】 確かにフェスによる入場者数はかなりの割合を占めていますので、今後、新たな指定期間に向けては、どういうふうに区別していくかは課題であると思います。

【石井部会長】 フェスの関連で利用者数が増えているとかというところについて、この今日の補足資料の3とか5とかを見ながら説明をしていただけると、分かりやすいかなと思うのですが。

【公園管理課運営調整担当課長】 はい。

【観音寺委員】 ちょっと私もその点で。説明前でちょっと後で言おうと思ったんですけども。

計算してみると、この資料、きれいにフェス除きというのを作っていただいているので、ありがたいなと思いながら見ていましたが、アリーナが72.7%だったのが66.8%、それ以外が

139%から63%、ゴルフパークに至っては144.1%から11.6%となっています。ゴルフパークは4,639人という形なので、当初の目標をクリアしたという評価が本当に正しいのかと思わざるを得ない数値かなと思っていて、次期指定の際にその目標設定において、フェス除きというのがいいのか悪いかというのはまた議論が必要かとは思っています。とはいえ、今、意見があったとおり、フェスって何となく市民というよりは市外、県外から来ているのかなと思っていくと、フェスがなかったらどうなっていたのかという数値は、ここを出していただいているんですけど、特に第3多目的グラウンドがすごく目立っちゃっているなというところですかね。

すみません。ちょっと言おうと思っていたところだったので、追加で言わせていただきました。

【公園管理課】 補足させていただくと、第3多目的グラウンドは非公募での選定の際にもその話をさせていただいていて、やはりかなり高い目標数値になっている中で、果たして実現できるのかという中で、最初からフェス込みで設定させていただいているところではあります。ただ、毎年の委員会の中でも、フェス込みという評価と運動公園としての評価というのを、別々にジャッジすべきじゃないかという御意見をいただいておりますので、次の指定期間においては、そこをどう分けて評価するのか、その評価仕様をどう定めるのかというのは課題になるだろうと考えています。特に令和4年から夏のフェスが入ってきたことで、ばんと20万とか利用者数が増えたけれども、その20万はスポーツ利用じゃないという中で、そのまま評価にならなくていいのかというのは、施設管理者として、施設所管課として、じゃどういうふうの評価していくかというのは、課題としては認識しております。

【観音寺委員】 実際スケートパークはフェスの人数がゼロで、100%を超えているわけじゃないですか。多分その努力はあったと思いますし、今の御報告の中でも、いろいろと集客のための取組されていると思います。スケートパークもフェスがなかったら駄目だったとなっていれば、全部この公園全体がそうなんですけれども、スケートパークだけこうあると、やっぱり第3多目的グラウンドなんかはちょっと何かできたんじゃないのかなと。やっているとは思いますが、そのフェス込みでの目標設定というのは、やっぱりそもそもどうなのかなと思ってしまいます。

【望月委員】 逆に、あらかじめ分けた目標設定を市から設定してあげたほうが、目標を到達できていないところも、最終的にすべて混ぜこぜにして、何となく埋もれさせてしまえば良いか、といった感覚は、排除できるのかという気は致します。

【観音寺委員】 フェスが未来永劫ずっと蘇我に在るとは限らないと思うんです。そのときに、

フェスが来なくなったからまったく目標は行きませんでした、しょうがないでしょう、フェスがないんだからという論調は、違うんじゃないかなと思います。そのあたり、ちょうど総合評価を今回もして、今後選定していくということであれば、検討してもいいんじゃないかなと思います。

【石井部会長】 今のゴルフパークのところなんですけれども、目標の専用使用件数が150件、年度。これ、本当ゴルフだけでは全然無理な数字なんだろうなと思うんですが、実際は44件だということなんです、ここ、フェスを除くと実際にゴルフとして利用した専用使用件数って何件なんですか。

【公園管理課】 フェスでの使用が41件で、そのほかが3件という状態です。

【石井部会長】 そうすると、150件に対して3件というところなので、もうちょっと頑張っしてほしいなというところですね。幾ら何でもちょっと少な過ぎますよね。

【観音寺委員】 3件って大会とかですか。

【公園管理課】 そうです。指定管理者のほうでやっていただいた自主事業としまして、新しくゴルフを始める方のための教室が2件と、あとは、今回スタッフが全日本ターゲットバードゴルフ協会に入会いただきまして、そういう別の市の協会との連携を深めるために、柏市のターゲットバードゴルフ協会の研修という名目で来ていただいて、その1回の利用があります。指定管理者のほうでもいろいろ横の連携を深めようと努力していただいているところで、東京都協会の方も個人利用で何回か使用していただいたというところではありますという。いろいろ努力していただいているところではあるんですが、なかなか専用件数が伸びていないところは実態としてあります。

【観音寺委員】 目標設定って、我々民間企業もそうなんですけれども、高過ぎてもやる気なくなっちゃうと思うんですよ。だから、今走ってみて何年かやった数値の中で、ある程度頑張っただけの数値にしないといけないと思います。今の150件の3件とかでまた同じ目標を立てても、さんざんな結果になりましたとか、フェス除きだと幾らとかなっちゃうと思うので、フェスはフェスで大きく増えますよというのがあってもいいと思うんですけれども、フェス除きの数値を、そんな別に高い目標にする必要はないんじゃないかなと思います。そこは指定管理者が頑張れる水準というか、そういうところをしっかりと測りながら、市としてリードしてあげればなと思います。

【公園管理課】 これ、実際に選定のときに、市としても、全国的にも3種併用という施設がないという中で、どう使われるか分からないというのと、市の財政局から高い目標設定をされ

てしまったという経緯の中で、ちょっと高い数値をせざるを得なかった、という説明をさせてもらっています。

ただ、その150件に関しては、団体さんと整備の段階から意見の交換をしていた中で、大体週に3回ぐらいは大会が入るよというような話もあつての設定ではあったんです。でも、実際には蓋を開けてみたら、そういう当初もくろんでいた利用が伸びなかったというのは事実としてあります。なので、選定の段階でも、まずは3年7か月の中でこの設定でやらせてもらった上で、この指標が果たして正しいものかどうか、次の全体公募の中で目標数値を一体何にすべきなのかということも併せて今回、仮の目標数値とさせていただくという話で、御説明はさせていただいていたんですけれども、やっぱり無理があったなというのが正直なところです。

【観音寺委員】 プレゼンのときにも、これは無理ですみたいな……

【公園管理課】 そうですね。

【観音寺委員】 指摘は、そんな声がありますけれどもね。

【公園管理課】 やはりここは次の公募のときにはもう少し丁寧に、現実的な数値をどこに持ってくるかというのは、検討していこうとは思っています。

【観音寺委員】 お願いします。

【石井部会長】 そうですね。専用使用3件といっても、要は身内の関係だけみたいなのところでしたから、専用使用というものの自体を目標にするのがいいのかどうかというところもあるのかなとは思いますが。

【公園管理課】 そうですね。そのとおりだと思います。

【石井部会長】 そのほか、スケートパークのほうも含めて何か御質問あれば。

【公園管理課】 じゃ、すみません、先ほどの御質問いただきました自主事業のイベント誘致の支出についてなんですが、今指定管理者にヒアリングをしまいいりました。フェンスの撤去等も入っているんですが、これですけれども、設営・撤去期間中の経費を一時肩代わりしているそうです。例えば従事スタッフのお弁当とか、水分補給が必要なのでペットボトルを購入したりとか、あとはインターネットが、先ほど電波が悪いという話がありましたけれども、フェスのときはフェスの主催者側がWi-Fiのスポットを会場内に幾つも設けています。そのときのインターネット会社に支払う代金なんかを、まず指定管理者で全て一度立替え払いをしているそうです。そのうちの何割かがその収入のところで戻ってきているという仕組みになっています。ですので、設営・撤去期間の様々な経費を肩代わりしているので、かなり大きな金額がそこに入っているということでした。

【石井部会長】 肩代わりしたことに対する収入というのは、この162ページの左側のアリーナのイベント関連事後清掃費等とかで入っている9,815万……

【公園管理課】 そうですね。

【石井部会長】 ここの中に入ってくるんだということなんですよ。

【公園管理課】 はい。そこに入ってきます。

【石井部会長】 そうすると、その対応関係が分かるような記載にさせていただいたほうが、誤解がなくていいのかなと。

【公園管理課】 そうですね。今後の課題とさせていただきたいと思います。

【石井部会長】 どうぞ。

【観音寺委員】 10－1の5ページです。利用者人数のところですが、ちょっと意外だったのが、小中学生が4割というのは結構多いなという気がしていて、分かればなんですよけれども、小中学生が単独で来るんですか。親とかといっしょに来るんでしょうか。どうなんでしょう。小学生とかがスケボーを持ってくるんですか。

【公園管理課】 一応小学生は保護者の付添いをお願いをしています。意外と子供たちを連れて、親御さんがスケートボードとかローラースケートがはやった世代だったりすると、その子供たちとかを連れて一緒に楽しんでいるなんていうこともあるようです。中学生ぐらいになると、単独で子供たちだけで……

【観音寺委員】 中学生になればそうですね。

【公園管理課】 遊びに来るといふ。結構週末なんかだと、家族連れで保護者の方は付添いで見ていて、子供たちが滑っているとかというようなケースもあります。

【観音寺委員】 あと、これも意外だったのは、住まいが6割が市外、4割が市内ですけども、6割が市外、また県外も4割ぐらいというのがちょっと意外だったなというところです。もうちょっと市内が多かったり、県外からわざわざ来るんだなという点が意外でした。

【公園管理課】 来るらしいんです。スケートパークって全国、皆さん行脚されるそうで、関東圏とかだと関東のパークをぐるぐる回るんだそうです。なので、意外と市内だけではなくて、県外からの御利用もあるような感じです。

【観音寺委員】 ありがとうございます。

あと最後に、意見の中で自由意見で「ミニランプが欲しい」というのが27件ということで、私も詳しくないんですけども、ミニランプというのは大変なんですか、造るのが。

【公園管理課】 ミニランプはU字型のもので。

【観音寺委員】　そうですね。今あるのは、あれはミニランプじゃないんですか。斜めになって。坂とかだけだから。

【公園管理課】　違います、坂になっているものです。

【観音寺委員】　これを、ミニランプを造るのは大変なんですか。

【公園管理課】　整備当時からもそういうミニランプを造るか造らないかという話が出たようなんです、あれ自体はそこで完結してしまうセクションになっていまして……

【観音寺委員】　流れていかないということですか。

【公園管理課】　流動的に流れていかないんで、そこで設置を断念され、ちょっとどうしてもコースに邪魔になってしまうというところもありますので、設置をしなかったという経緯があるそうです。

【公園管理課】　ミニランプ自体は結構、中級者ぐらいからが楽しめるようなセクションなんだそうです。そうなったときに、千葉市で初めて設置する公共のスケートパークという中で、どこをターゲットにしますかという話を整備当初から関係者含めて話をしていた中で、オリンピックも近かったということもあって、初めてこれからやるという人たちがうまくなりたいという、初心者から中級者ぐらいまでをターゲットとしてこの施設を整備しようという方針でやっていました。基本的に中級者向けだという単独のミニランプを置いて、そうするとそのスペースってほかに使えなくて、順番待ちの列ができてしまうんだそうです。そういう使い方をするよりは、パーク全体をみんなで滑れる、様々な熟練度の人たちがみんなで楽しく滑れるようなパークを目指そうというコンセプトの下で整備しているので、関係者の中で任意団体のスケートボード協会さんとかプロボーダーさんとか、そこら辺の方たちに意見を聞いた中で、ミニランプを設置するよりは、全体の整備費の中でみんなが楽しめるようなセクションを複数、満遍なく置こうという方針で整備したこともあります。ですので、御意見は受け止めつつ、蘇我に関してはそれを目的としていないというところがあります。

【観音寺委員】　ありがとうございました。そういう方針、コンセプト、ターゲットを考えた上での対応であれば、全く問題ないかなと思います。

【石井部会長】　アンケートのところにある「ダウンレールが短い」とか「バンクが低い」とかというのも、同じことなんですね。

【公園管理課】　そうですね。長くなればなるほど難易度が高まるというところで、一つの意見として受け止めて、特にここの改善というのは検討していないということです。

【石井部会長】　それと、それらの意見が、上見ると、特にA J S A開催時のアンケートとあ

るんですけれども、このA J S Aというのはうまい人がやるような、そういうのなんですか。

【公園管理課】 スケートにもプロの資格があり、プロ資格の認定のための、関東予選のようなものが蘇我スポで行われているんですが、ある程度うまい方が来られるので、その際に意見を聴取しているというところです。なので、結構、「ダウンレールが短い」という、そういう意見が増えてしまうんだと思います。

【石井部会長】 対象としている初級者とかの意見ではなくて、そうではない、この開催したときのうまい人たちからこういう話が出ました、そういうことなんですね。

【公園管理課】 そうですね。はい。

【石井部会長】 分かりました。

資料9-1の5ページのこれもアンケートの中で、ゴルフパークの認知のきっかけ等で、「公園利用中に施設を見つけて」とか、それから公園内での告知も積極的に進めていきたいとかいうことが書いてあるんですが、これって具体的にどんなことをされているのか、しようとしているのかということは、何かお聞きになっていますでしょうか。

【公園管理課】 ゴルフパークの利用で、例えば庭球場を使ったりとか、ほかの施設を使った後でゴルフパークを使用するということが結構多くて、それで公園利用中に見つけて施設を利用いただいたという声がある中で、各施設の受付でこういったほかの施設もありますよという案内をしていただいたりとか、あとは、公園施設のパンフレットで、ゴルフパーク、パンフレットを置いたりとか、そういったことをやっていただいているとか、あとは、みどりの丘という芝生広場に結構ファミリー層がいらっしゃいますので、そこにお声がけをしてゴルフパークの利用を促進させているというところです。

【石井部会長】 その公園内での告知ということに関連して、例えば蘇我球技場、フクアリで何かあったときに、この同じ公園の中にこういうのありますよという案内をするとか、そういうことというのはできないんですか。

【公園管理課】 過去、Jリーグの興行時にそういった施設案内をやろうとした経緯、指定管理者とジェフのほうでやろうとした経緯もあるそうなんですが、お金の面で折り合いがつかなかったりとか、あとは、試合が完全に終わった後でちょっとだけならいいですよみたいな、こともあったそうでした、なかなか告知にはまだ至っていないというような状況です。

【石井部会長】 お金の面で、自分たちが管理運営している、指定管理者たちでやっている施設の中で、その施設のことを紹介するのにお金がかかるんですか。

【公園管理課】 まず、ビジョンの広告は、広告代がかかるそうです。ジェフがその分を、ス

ポーンサーから広告収入としてもらっているの、施設管理者からも徴収をするというところ
で。

【石井部会長】 施設管理者が自分の施設を紹介するのにお金がかかるということなんですか。

【公園管理課】 大型のビジョンに掲載をしたいといったときに、なかなかややこしいんですけれども、Jリーグをやっているジェフさんと指定管理をやっているジェフさんは、一応会社の中でもすみ分けがありまして、あくまでビジョンへの放送は興行主ジェフとしてスポンサーとかからお金をいただいてやっている枠、一方で、施設管理者としてのジェフは、ここのスポンサーさんとかにお金をいただいているところにはなかなかその権利を主張しにくいという。中でいろいろ苦勞はしているそうなんですけれども、そこはそこという区分けがあるそうです。

【石井部会長】 そのほか何か御質問ございませんでしょうか。

そうしましたら、1、公の施設の基本情報から7、総括、（2）市による評価については以上で終わります。

続きまして7、総括、（3）都市局指定管理者選定評価委員会の意見についてですが、次年度以降の管理運営をより適正に行うための意見、助言など、よろしくお願いいたします。

これ、年度評価シート分かれています、別々に話をしていくほうがよろしいのでしょうか。まとめてでも大丈夫なのか。

【公園管理課運営調整担当課長】 そのようにお願いできればと思います。

【石井部会長】 それでは、まずは資料8－1、第3多目的グラウンド等及びスケートパーク等を除いた千葉市蘇我スポーツ公園についてお願いいたします。資料8－1に関連するところでお願いいたします。

観音寺委員。

【観音寺委員】 別々ということであれば、先ほどちょっとお話しさせていただいた通信のところ、ほとんどの施設が今回の8－1の対象になっているのかなと思いますので、真摯にそこはまたスピーディーに御対応をいただきたいところです。

あと、これはちょっと共通しちゃうんですけども、私が結構口酸っぱく言ったからか、アンケートについて非常に一生懸命やっただいていて、というのは感じています。件数もそうですし、聞いている内容もかなり多岐にわたって聞いていまして、また、その内容を真摯に捉えて対応されているというところも受け取れていますので、このあたりは継続してやっていただきたいなと思います。

以上です。

【石井部会長】 ありがとうございます。

いかがでしょうか。特に、先ほどまでのことでよろしいでしょうかね。やっぱりジェフ、プロが使う球技場としていい芝、大事だと思いますので、引き続き良くなるよう改善に努めていただきたいなと思います。

それから、市からの指摘を受けている統括責任者、副統括責任者など、その指摘を受けたにもかかわらずその次もまたということはないように、しっかり連携を取っていただきたいなと思います。

そういった点は幾つかあるにしても、やはり市が指定管理者に求める水準に即した良好な管理運営は行われているものと評価できると思いますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思っています。

では、続きまして、資料9－1、多目的グラウンド等について御意見、御助言などをお願いいたします。多目的グラウンド等です。ゴルフパーク、駐車場です。

観音寺委員、どうぞ。

【観音寺委員】 こちらは、先ほどのフェス除きという数字が一番顕著に出てしまったところかなという中で、先ほどあったとおり、なかなか数値の目標設定が難しかったというのは、我々も選定のときにも関わっている以上、やむを得ないところもあるのかなと思います。

補足資料の中でも御意見と対応のところで、手荷物預かりサービスを開始したとか、「ふれあいパスポート」とか、あと飲食については今後キッチンカーの派遣を検討しているとかありますので、良いと思います。やっぱりターゲットバードゴルフとか、グラウンドゴルフも含めてですけれども、パターゴルフというスポーツはマイナーというところはやむを得ないとは思いますが、しっかり整備したいいいコースだと思いますので、知ってもらおうということも含めて、また、利用者の口コミで広がるような形で、いろんな御意見を踏まえながら対応いただきたいなと思います。

今後、夏場の日陰とか、休憩場所への要望もありますし、やっぱり私もあそこを歩いていて思うのは、結構日差しがきついなということです。休憩のテントなどの設置する対応をされているということですが、高齢者の方が多いとすると、生死に関わっちゃうようなこともあり得ますので、このあたりも気をつけつつ、なるべく利用者を増やすように頑張ってもらいたいなと思います。

以上です。

【石井部会長】 いかがでしょうか。

【望月委員】 目標数値の設定の仕方を我々も一緒に考えていかななくてはいけないと思っています。

【霞委員】 同じような話ですけども、利用者数と利用件数でAとEという両極端な評価になってしまっているというところが、やっぱりちょっと気になりますので、今後の目標設定の見直しというか、さっきのフェスの話も絡みますけれども、この辺で御検討いただければと思います。

【石井部会長】 こちらについては、利用者から寄せられた意見等へきちんと対応していただいておりますし、それから、「芝の手入れが行き届いていて気持ちよかった」と、こちらでは芝、非常に高評価を受けていますし、他施設との比較での使いやすさも満足ということですので、そういった面では、施設の管理というところでは、市が指定管理者に求める水準に則した良好な管理を当然行われていたものと考えられると思います。

あとは、利用人数、利用件数というところで頑張っていたきたいなと。公園内での告知とか案内とか、できる限りのことをしていただければなと思います。

以上です。

続きまして、資料10-1、スケートパーク等についての御意見、助言をお願いいたします。

観音寺委員、お願いします。

【観音寺委員】 これも今までちょっと話してきた内容と重複しちゃいますが、やっぱり新しい施設ということで、アンケートなんかでも、思ったより市外が多い、県外が多いとか、小中学生が4割占めるとか、いろんなパターンが分かってきたのかなというところですね。マナー啓発というところも気をつけていただいている、そういう場所が少ないということもあるのかもしれないんですけども、好評いただいているのかなというふうに思います。

先ほど説明で、要望があるからというわけではなくて、狙っているターゲット、それから施設のコンセプト、このあたりをしっかりと考えて御対応いただいているのかなと思います。とても評価できることですし、フェスに関わらず目標も達成しているということですので、こちらについては引き続き、やっぱりマナーがすごくこのスケートボードに関しては気になっちゃうところでもあるので、今の現状を継続できるように頑張っていたきたいなと思います。

以上です。

【石井部会長】 いかがでしょうか。

どうぞ。

【霞委員】 やはり今の話と関連しますけれども、現状の利用が県外からもかなり多いという

ことは、かなりユニークな施設として一定の認知をされているということが言えますので、ある意味これが強みですね。強みになっておりますので、引き続きこのまま、いろんな今お話があったような取組とかも含めて、進めていっていただければというふうに思っております。

【石井部会長】 スケートパークについては、何か悪いところを見つけるのが大変なのかなというぐらい、よくされているのかなと思います。このフクダ電子ゴルフパーク、先ほどの第3多目的グラウンド等、全く正反対のような形になっちゃっていますので——なっちゃっているというか、なっていて、非常にいい、よく管理運営されているなと思います。こちらの人数等を考えても、何とか先ほどの第3多目的グラウンドのほうも、こちらのようになっていただけないかなというように思うところです。もちろん評価としては、良好な管理運営が行われていたと考えております。

あとは、この書き方があれなのかもしれないですけども、ターゲットとしている層がこういったところなんですということが分かるように、それから利用者に対してもそれは分かるようにしたほうがいいのかと。そうすると、そこを超えた意見というものに対しては、いや、ここはこうなので、申し訳ないですけどもという話もできるとは思いますし、そのようにお願いできればと思います。

7、総括、（3）都市局指定管理者選定評価委員会の意見ですが、先ほど質問等の際に出ました意見、これらも含めて部会の意見といたします。

なお、市に対して答申する際の文言等の整理につきましては、私と事務局のほうに御一任いただければと思いますが、委員の皆さん、よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

【石井部会長】 ありがとうございます。

では、最後に、資料11－1から11－8までの各社財務諸表から見る当該指定管理者の財務状況について、意見交換を行います。

一部の資料は一般に公開されていない法人等情報を含んでおり、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例施行規則第12条第1項第2号及び千葉市附属機関の会議の公開に関する要綱第2の1の規定により、ここからの会議は非公開といたします。

（経営及び財務状況に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報（法人等情報）が含まれているため、表示していません。）

【石井部会長】 では、財務状況についてはよろしいでしょうか。

ありがとうございました。では、非公開部分は終了いたします。

以上で、議題（１）千葉市蘇我スポーツ公園、千葉市蘇我スポーツ公園第３多目的グラウンド等、千葉市蘇我スポーツ公園スケートパーク等の年度評価についてを終わります。

それでは、引き続きまして、議題（２）千葉市蘇我スポーツ公園第３多目的グラウンド等、千葉市蘇我スポーツ公園スケートパーク等の総合評価についてに入ります。

まず、資料12－１、13－１及び14－１、指定管理者総合評価シート、１、基本情報から５、総合評価を踏まえた検討、（３）指定管理者制度継続の検討について、事務局より御報告をお願いいたします。

【公園管理課運営調整担当課長】 引き続き私のほうから御説明させていただきます。

それでは、資料12－１を御覧ください。まず、１の基本情報となります。記載内容につきましては、資料８－１の年度評価シート１、それから２と重複しておりますので、説明は割愛させていただきます。

【石井部会長】 すみません、そうしたら、最初に今までの年度評価とこの総合評価何が違うかということを簡単に説明していただいて入っていただけるといいかもしれません。

【公園管理課運営調整担当課長】 はい。失礼いたしました。

まず、今回総合評価を行いますのは、現在の指定期間は今年度が最終年度になります。また来年度からの新しい指定期間を迎えるに当たって、今期の総合的な評価を行うために、それまでの各年度の評価の内容を踏まえた総合的な評価を行いまして、指定管理者制度導入の効果、それから次期に向けての継続の要否というか適否といった点について評価を行うものとなっております。

評価シートにつきましては、先ほど同様、それぞれの施設ごとに作成をしておりますので、またそれぞれごとの説明をこれからさせていただいて、また御審議いただきたいというふうに考えております。

説明に入ってよろしいでしょうか。

【石井部会長】 ありがとうございます。

【公園管理課運営調整担当課長】 では、資料12－１の説明に入らせていただきます。

基本情報につきましては、先ほど申し上げましたとおり、説明が重なってしまいますので割愛いたします。２の成果指標の推移のところを御覧いただけますでしょうか。成果指標１につきましては、蘇我球技場の利用者数と入場者数、それからフィールド稼働日数となっておりますけれども、新型コロナウイルス感染症の影響が顕著であった令和２年度は施設の利用休止や

利用制限などがあったことから利用が大きく落ち込んでおります。その結果、利用者数は7万8,700人、稼働日数は48日となっております。その後は感染防止対策を図りながら利用促進に努めて段階的に利用を伸ばしまして、5年度には25万4,552人、61日まで回復しております。

こうした経緯があった中で、5年間の平均については16万5,507人、59日で、達成率はそれぞれ47.3%、74.1%となっています。

次、2ページをお開きいただけますでしょうか。成果指標2についてです。蘇我球技場以外の施設の利用者数、施設稼働率となります。成果指標1と同様に、令和2年度の利用者数は16万9,418人と、目標45万人を大きく下回る結果となっておりますけれども、その後は回復いたしまして、5年度には62万7,196人と達成率139.4%となりました。5年間の平均では利用者数40万6,651人、達成率90.4%ということで、コロナの影響を受けながらも、相応の成果を上げられたものと考えております。

また、施設ごとの稼働率の5年間の平均を見ると、多目的広場が61.6%、庭球場が60.7%、第1多目的グラウンドが59.7%、第2多目的グラウンドが32.9%、そして円形野球場が28.5%で、円形野球場以外は達成率が9割程度かそれ以上となっており、様々な工夫を図りながら利用促進に努められたことがうかがえる結果となっているものと考えております。

では、3ページを御覧ください。収支状況の推移についてですが、必須業務の収支の額を御覧いただきますと、年々利用の回復とともに利用料金の収入が増加して、支出も増えているものの、各年とも黒字となっております。健全かつ安定的な施設運営が行われておりました。

4年間の合計につきましては、収入が16億2,133万9,000円、支出が15億1,899万8,000円で、収支は1億234万1,000円となっております。

自主事業の収支については、コロナの影響が縮小するにつれてイベントの開催や物販などの収入が増加して、4年間の合計では収入が3億7,169万7,000円、支出が2億9,607万3,000円で、収支は7,562万4,000円となっております。

必須業務と自主事業を合わせた総収支については、総収入が19億9,303万6,000円、総支出が18億1,507万1,000円、総収支は1億7,796万5,000円となっております。

なお、利益の還元については、第3多目的グラウンドやスケートパークを含めた全体額で算定しておりますが、各年度とも該当はありませんでした。

4ページを御覧いただけますでしょうか。4の管理運営状況の総合評価となります。評価項目のうち、評価をBとしたものが3項目、Cとしたものが6項目、それからDとしたものが1項目ありました。この結果、一番下を書いてありますが、総合評価としましてはCとしており

ます。

これらの評価に当たりましては、本日机上で配布させていただきました補足資料の7に各年度に評価の一覧表を基に、これまた資料7ですね、1冊目の資料7の評価の目安の（総合評価シート）という資料がはさまっておりますけれども、そちらに示した基準、例えば各項目においてAやBが全体の半数以上であれば期間を通じた総合評価はBとする、そういったような考え方が書かれておりますけれども、そうした考え方に基づいて評価を行っております。

評価シートのほうに戻ります。上から御覧いただきますと、1の（1）蘇我球技場の成果指標の評価をDとしている理由ですけれども、これは蘇我球技場の成果指標に対する評価に当たっては、新型コロナウイルスの影響を顕著に受けていた令和2年と3年の実績を除いて評価を行っておりますが、その後はJリーグのオフシーズンに改修工事がありまして、貸出休止なども相当影響したことから、その目標の達成ができなかったものと考えております。

次に、Bとした項目ですが、4の（2）の施設の維持管理業務は、当初蘇我球技場の天然芝の管理水準に懸念を感じるところがあったんですけれども、従事する職員を増やす取り組み、その後芝の状態のほうも改善してきていることや、園地広場の植栽管理についても大会等の利用スケジュールを考慮しながら適切な時期に作業を行うなど、きめ細かな管理を行っていたことを評価したものでございます。

また、5の（3）施設における事業の実施では、音楽フェスの受入れに対する積極的な協力、地元企業と連携した野球教室など、施設の利用促進が図られたこと。

6のその他については、障害者施設と連携して除草作業を実施したことや、売店の出店、監視カメラの設置などの実績を考慮したことを評価しております。

では、5ページのほうを御覧ください。5の総合評価を踏まえた検討についてですが、（1）指定管理者制度導入効果の検証につきましては、2つ目の当初見込んでいた効果が概ね達成できたとしております。その理由ですが、指定期間の一、二年目は新型コロナウイルスの影響によって利用者数の大幅な減少、計画していた自主事業の見送りなど、目標達成が困難な状況であったんですが、令和4年度以降は利用も回復して、各種大会や春・夏の音楽フェス、それから九都県市合同防災訓練などで利用されておりまして、指定管理者においてはこうした非常に過密なスケジュールを調整して安全・安心、快適な利用環境の確保に努められていたものと評価したものでございます。

また、蘇我球技場の天然芝についても、豪雨や異常高温などの厳しい気候条件に対応して品質の改善に努められていたことや、施設管理、園地管理についても不具合等に迅速に対応して

いたことなど、概ね管理運営の基準を満たす管理が行われていたものと考えております。

次に、（２）の指定管理者制度運用における課題・問題点については、蘇我球技場の利用が過密な状況に対応して、多くの利用を効率的に受け入れる調整のノウハウについては、各団体とのコミュニケーションや利用の実態を踏まえた受入れの判断などが求められますが、こうしたノウハウが次期指定管理者へうまく継承されていくことのほか、指定管理者の自主事業の協議において、法令基準との適合性判断に時間を要してしまって、民間事業者のスピード感と差が出てしまうこと、そして、蘇我スポーツ公園の運動公園として、防災拠点として、またＪリーグの開催会場や大規模な音楽フェス開催地としてなど、様々な用途やニーズへの対応が求められておりますので、施設の管理運営上考慮すべき事情が多くて、指定管理者の負担が大きいことなどが課題として挙げられると考えております。

最後に、（３）の指定管理者制度継続の検討ですけれども、指定管理者制度を継続するとしております。

資料12－１の説明は以上となります。

続きまして、第３多目的広場について御説明いたします。資料13－１をお開きください。

まず、１の基本情報についてですけれども、先ほどと同様に、資料９－１と重複しておりますので割愛をさせていただきます。

２の成果指標等の推移ですが、成果指標としては利用者数と専用使用件数となっております。本施設は令和３年９月より供用開始しておりますので、平均は４年度と５年度で算出しておりますが、利用者数は４万9,404人、専用使用件数は37件となっております。

数値目標の達成率ですが、ここでちょっと修正が１点ございます。あらかじめお配りしていた資料では、令和３年を含めた３年間で達成率の平均を出していたんですが、利用者数と同様に、４年度と５年度の平均に修正したもので本日お配りした資料のほうは修正をさせていただいております。

利用者数ですけれども、令和４年度から音楽フェスで使用されているので、その入場者も含まれており、ゴルフ系スポーツでの利用は４年度が5,169人で、５年度が4,639人となっております。トータルでの目標値は達成したんですが、施設本来の活用に関し利用者ニーズを踏まえつつ、さらなる利用促進が必要と認識しております。

２ページを御覧ください。３の収支状況の推移についてです。必須業務の収支の額を御覧いただきますと、利用料金の収入は増えてきてはいるものの、各年とも見込んだ計画の額の収入は得られず、支出については概ね計画どおりであることから、収支は赤字となっております。

利用料金収入の不足については、専用使用の件数が目標の5分の1から4分の1程度であったこと、個人での利用も少なかったことなどが理由と考えております。

必須業務と自主事業を合わせた2年7か月の総収支につきましては、総収入が1億3,230万4,000円、総支出が1億5,261万3,000円、総収支は2,030万9,000円となっております。

次に、4ページを御覧ください。管理運営状況の総合評価になりますが、先ほどと同様、資料7の評価の目安（総合評価）に基づきまして、評価項目のうち4の（2）施設の維持管理業務の評価をBとしたほかは全てCとしております。

この結果を踏まえて、一番下に書いてあります総合評価につきましてはCとしております。

なお、4の（2）の施設の維持管理業務の評価をBとした理由ですけれども、ゴルフ場の天然芝については供用開始以来刈込みや施肥、除草などの肥培管理や土壌環境の改善に努めていたほか、音楽フェス開催後の原状回復に主催者に協力して行うなど、コースの機能や美観の維持に努めたことを評価したものでございます。

次に、5ページを御覧ください。5の総合評価を踏まえた検討でございます。（1）の指定管理者制度導入効果の検証につきましては、当初見込んでいた効果が概ね達成できたものと考えております。

その理由は、利用者数については、音楽フェスの入場者数もあって目標達成できましたが、高齢者の利用や団体の大会利用が少なく、専用使用件数の目標を達成できなかったことから、本来のスポーツ利用についてはまだまだ改善の余地があると考えておりますが、一方で、ファミリー層の利用を伸ばすため、ふれあいパスポートへの参加や市民の日の無料開放に協力して、自主事業としてフットゴルフやスナッグゴルフなどのイベントを企画して新たな利用者層を開拓したことや、指定管理期間を通じてコースの芝が良好に維持されていたことを踏まえれば、当初見込んでいた効果を概ね達成できたものと考えております。

次に、（2）の指定管理者制度運用における課題・問題点としましては、ゴルフ系ニュースポーツでの利用がまだまだ少ない中、蘇我スポーツ公園ではゴールデンウィークや夏季に開催される音楽フェスが定着して、その会場として使用されて、成果指標においても目標達成となっているところですが、今後当初想定していた大会開催などでの利用が増加した場合は、利用調整などでの工夫が必要となる可能性を挙げております。

最後に、（3）の指定管理者制度継続の検討については、指定管理者制度を継続するとしております。

以上をもちまして、資料13-1の説明を終わります。

引き続き、資料14-1、スケートパーク等について御説明をさせていただきます。資料をお開きください。

1の基本情報ですが、こちらにつきましても説明を割愛させていただきます。

2の成果指標の推移についてですけれども、まず成果指標につきましては、利用者数となっております。本施設は令和4年度より供用開始しておりまして、平均は4年度と5年度のものになりますが、1万3,578人で、目標である1万人を大きく超えて、達成率は135.8%となっております。

次、2ページ目を御覧ください。3の収支状況の推移ですけれども、利用料金は計画以上の収入がありまして、支出についても計画以上の額となっておりますが、収支は黒字となっております。

自主事業につきましては、計画していた自主事業は実施できず、収入も支出も計画を下回っております。必須業務と自主事業を合わせた総収支の2年間の合計は、総収入が5,193万6,000円、総支出が4,958万2,000円、総収支が235万4,000円となっております。

では、隣の3ページを御覧ください。4の管理運営状況の総合評価についてですけれども、先ほどと同様に、資料7の評価の目安に基づきまして、評価項目のうち1の成果指標の目標達成は評価Aとして、4の(2)の施設の維持管理業務の評価ほか2項目をBとしたほかは全てCとなっております。

そして、この結果を踏まえて総合評価は一番下を書いてありますとおり、Bとしております。

1の成果指標の目標達成につきましては、2年間にわたって目標を上回る実績を上げたことから、総合評価もAとしております。

4の(2)、それからそのほか2項目の評価Bとした理由につきましては、みどりの丘の芝生管理など、利用環境の安全確保や美観維持が図られたこと、市内初の施設の管理運営に当たり認知度の向上や利用促進に努めたほか、競技団体などとも連携して、利用者のマナー啓発に積極的に取り組んでいったことなどを評価したものでございます。

次に、5ページをお開きください。5の総合評価を踏まえた検討についてですが、(1)の指定管理者制度導入効果の検証につきましては、当初の見込みを上回る効果が達成できたものと考えております。

その理由は、利用者数の目標を2年にわたり達成することができたことや、体験会の実施、競技会、イベントの誘致を行って、本施設を幅広い市民に知っていただく機会を増やして、市外からの利用者も多かったこと、開設後2年目となった5年度は利用者数が若干減少しました

が、リピーターも多く、定期的なイベント・講習会などを通じてストリートスポーツのコミュニティづくりやコミュニティの拠点づくりを促進することで、さらに利用の促進が図られるものと考えております。

次に、（２）の指定管理者制度運用における課題・問題点としましては、本施設は市内に遊戯施設がなく、本施設の整備段階から各種目の競技団体の意見を聞きまして、ストリートスポーツ競技に係る施設の管理運営について検討を行い、供用開始から２年間にわたってノウハウの蓄積を進めてまいりましたが、まだ不十分であると考えております。

また、供用開始後についても、各団体の協力を得て施設管理や利用促進を図ってきております。今後とも市民に利用される施設の意欲的な運営を継続していくため、指定管理者のノウハウの蓄積を進めるとともに、次期指定管理者に対しても上手に継承できるよう留意して取り組む必要があると考えております。

最後に、（３）指定管理者制度継続の検討につきましては、指定管理者制度を継続するとしております。

以上で総合評価シートの説明を終わります。よろしくお願いします。

【石井部会長】 ありがとうございました。

それでは、ただいまの事務局の御報告に対しまして、御質問等ございましたら御発言をお願いいたします。

蘇我球技場の成果指標のことなんですけれども、35万人でしたか、これを算定した根拠というのが補足資料２に出ているところですかね。

【公園管理課運営調整担当課長】 はい、補足２になります。

【石井部会長】 前回の指定管理期間のときの平均を取って35万人目標でいけるだろうということで設定したけれども、まずはコロナの影響があって落ち込んでしまって、回復はしてきたけれども、まだここまで至っていないということですかね。

【公園管理課運営調整担当課長】 そうですね。あと、それに加えて、改修が４年度、５年度と続いてしまいましたので、通常Ｊリーグのオフ期間に行っている高校サッカー選手権とか、例年行っていた大会開催等もできなくて、その影響もあってこの目標達成が難しかったというふうに考えております。

【石井部会長】 そうすると、その次の指定管理期間のときの目標設定するときはどうするのがいいでしょうか。というのが、このコロナと改修の影響があって低い数字を基にしたらいいいのか、そこを除いて前の35万人そのままいくのかとか、それを今後検討するという事にな

るんでしょうかね。

【公園管理課運営調整担当課長】　そうですね、なかなか2年度、3年度の数字を反映することは厳しいと考えておりますので、その前指定期間も含めてどのようにすべきか検討していきたいと思います。

【石井部会長】　算出根拠の補足を見ると、Jリーグの実績では大分戻ってきているような感じがありますので、ただ、高校サッカーがないからということで、ここは全くゼロになってしまっていますし、ちばぎんカップもゼロということで。ここが増えるとどのぐらい増えるんですかね。

【公園管理課運営調整担当課長】　Jリーグと高校サッカーとちばぎんカップを考慮いたしまして、令和5年度実績プラス8万人ほどを上乗せすると大体33万人になりますので、ある程度改修がなければ目標達成に近づいたかなというふうには考えております。

【石井部会長】　ありがとうございます。

どうぞ。

【観音寺委員】　総合評価の質問じゃないんですが、これだけ物価だとか光熱費だとか上がっている中で、民間企業の賃上げ等々国からの要請もあって動いていて、多分この指定管理者の中でもいろんな経費の増加というのが出てきているのかなと思います。このあたりは指定管理料の変更とか、実際収支を見るとかなりフェスもあってプラスになっているのでなかなか難しい部分はあるんですけれども、そうはいつでもこのSSPから下請けをしているいろいろ多段階の構造もあるという中で、何か現段階で考えていることとかあるんでしょうか。

【公園管理課運営調整担当課長】　次期指定管理に向けては、これから管理運営コストの総額というものを出していったら、利用料金の見通しを差し引いた中で委託料を幾らにするかというような算定していくのですが、ここ最近は光熱費高騰の影響もあって、後々支援をしたりというのがあったりします。基本的には実績ベースとして幾らにしていくか、という議論がスタートすることになりますので、物価高も含めた全体コストの適正なコストの在り方を今後検討していきたいと思っています。

【公園管理課】　補足なんですけれども、まず次の5年間の指定管理委託料を財政局と予算確保のための協議を行います。そのときに、当面の人件費の上昇ですとか物価の高騰の指数というのを掛けて要望を出しています。

一応指定管理者制度の中でも、今後の物価上昇率とか人件費の上昇率を見込んだ収支計画書を提案書に出してくださいというのを要項には書かせていただいているんですね。とはいえど

も、昨今ちょっと5年前は想定しなかったような物価上昇があつて、一応制度上はその物価上昇による経費の増は指定管理者の負担になっています。なので、原則としては市は補填しないという形になっていたんですが、光熱水費に関しては国の方針で光熱費は負担をするということがあったので、指定管理者制度での補填ではなくて、指定管理者を行っている企業への支援という形で千葉市では実施をしました。

今人件費がかなり高騰しているということもあるので、それをどうするかというのは制度所管課のほうでも検討はしているようですけども、昨今のこの急な上昇も見込んだ金額でまずは委託料の協議をしていくことになるとは思っています。

【観音寺委員】 この経済動向なんかはこの見直しのタイミングでやっていかないと、事業者泣かせになってしまうと、人手不足とこれだけ言われている中で確保が難しくなっていく、そうするとサービスの質が落ちるということがひいては住民、利用者への影響につながってしまいますので、このあたりは適宜御対応いただければと思います。

【霞委員】 今のお話にちょっと関連して、よろしいですか。

今のお話だと、今後の収支のほうには数字のほうでは上がってこないけれども、個々の企業の財務諸表のほうにその補填の部分が上がってくるというふうに理解すればよろしいですか。

【公園管理課】 そうです、今回SSP UNITEDは最終的に大幅な黒字だったので、企業への補填が何もなかったんですけども、千葉市全体としては指定管理料の中でも光熱水費の圧迫で大幅な赤字になたような指定管理者がいました。そこに関しては、別途その会社に支援をしていますので、指定管理の報告書には金額は出てこないけれども、会社の本体の決算書のほうに数字が入ってくるという企業さんももちろんいらっしゃる。

【石井部会長】 では、御質問よろしいでしょうか。

はい。

それでは、1、基本情報から5、総合評価を踏まえた検討、（3）指定管理者制度継続の検討については以上で終わります。

続きまして、5、総合評価を踏まえた検討、（4）都市局指定管理者選定評価委員会の意見について、次期指定管理者の選定に向けての意見または助言などをよろしくお願いいたします。

総合評価シートが分かれているため、まずは資料12-1、第3多目的グラウンド等及びスケートパーク等を除いた千葉市蘇我スポーツ公園についてお願いいたします。

お願いします。

【観音寺委員】 12-1の5ページにあるとおり、市のほうでもつくっていただいた総合評価

を踏まえた検討のところのとおりかなというのが正直なところでは。いろんな課題も出てきている一方で、いろんな過密なスケジュールとか芝の管理、施設維持に関しての豪雨とか高温への対応とか土壌環境の改善等々、かなり求めていく水準が高くなっていると感じています。

また、音楽フェスだと相当な人が来て芝を踏みつぶすというところも、なるほどななんて、芝の養生での問題もあるのかなと思っております。

ほかの事業者ではできないこともやっていただく中で収益も上げているということで、評価する中で、指定管理者制度の継続というところは重要になってきますし、この課題認識等々をしっかりとノウハウとして千葉市としても管理していただければなというふうに思います。

以上です。

【石井部会長】 いかがでしょうか。

【霞委員】 そうですね、今の話もあったように、十分課題の認識がされておりますし、方向性も特に問題ないというふうに思われますので、このまま継続して指定管理者制度続けていただければ、方向性としては全く問題ないというふうに考えております。

【望月委員】 この5年間の前半は本当に苦しい中をよく乗り切ってもらったなという点で評価したいと思っています。

それ以外の改修とかそのあたりの事情もあったので、この期間の数値がちょっと目標より下回ってしまったのはやむを得ないとして、今後その前の水準にまで戻るように、この期間を踏まえてさらにうまくやっていってほしいなというふうに思います。

【石井部会長】 皆さんお話しされたように、この5年間でしっかりやられていたのと、市が期待しているような管理が行われていたのかなとは評価できるかと思います。

今後もその指定管理者制度継続ということは望ましいのかなと考えているところです。

ただ、今後次年度以降選定するに当たって、この基本情報のところにあるビジョンとかミッションで、集客スポーツ施設としてトップスポーツの誘致、これもジェフの関係だと思いますし、大規模イベントの開催というのはフェス、それはそれぞれまた個別の目標とか数字とかあるかとは思いますが、それに加えての市民のスポーツ利用、市民のスポーツ、レクリエーション振興のためというのもミッションに上がっていますので、それらを踏まえて成果指標等も考えていくというのがよいのかなと。足りないのをほかから数字持ってきて埋め合わせて達成したよというようなことではなく、それぞれ分けて考えられるようにして、その目標に向かってやっていっていただきたいなというふうに考えております。

では、続きまして、資料13-1、第3多目的グラウンド等について御意見、御助言などをお

願いいいたします。

【観音寺委員】 こちらについては先ほど年度評価でお話したのとほぼ同じになってしまうかなと思っています。かなり苦戦したなというところで、当初から、選定の時点からあった課題ではあるものの、だからいいというわけではない中で、利用者数とか専用使用件数等々について再度市ともかなり綿密に打ち合わせする中で、あるべき姿、目標設定等々はしっかりしていただきたいなと思うところです。

ゴルフ系ニュースポーツというのが利用が認知度も含めてまだまだ少ないということで、例えば市の広報だとかいろんな市のメディアを使いながら、経済部門と連携するなど、なかなか都市局だけでは難しいのかなという気もしています。例えば高齢者関係の部門だとか、子供子育て関係だとか、いろんなところと連携する中でここを盛り上げていくべきです。千葉県内でも蘇我でこういう施設があるんだよというPRはもう少し市全体でもバックアップしてあげることが指定管理者にとっても施設運営しやすくなるというところで、ぜひ都市局だけじゃなくて、うまく連携するようなことを御検討いただければなと思います。

以上です。

【石井部会長】 ありがとうございます。

いかがでしょうか。

【霞委員】 第3多目的グラウンドが一番事業として難しいという印象を受けておりまして、やはりぶっちゃけた話、特徴がないわけですよ、これとって、スケートのような。だから、今おっしゃったように、どうやってまず認知度を上げていくとかかいうところから考えていかなきゃいけないのと。

やっぱり、フェスに頼ってしまうというところがどうしてもあるので、そこら辺の、目標数値の話もありますけれども、切り分けというのを1つの大きな課題として御検討していただいて、突破口的なものが何かないのか、なかなか言って難しいですけれども、引き続き御努力していただければと思っています。

以上です。

【望月委員】 令和3年度から供用が始まった施設なので、当初目標数値の設定が難しかったのだと思いますけれども、3年間やってみて、使われ方の実態も踏まえて目標数値を考え直すということと、あとやはり本来の施設目的の利用を促すような取組をしていただきたいと思います。

【石井部会長】 今お話に出たところなんですけれども、今度の目標設定のときは実際の数字

が出てるわけなので、それを踏まえてということではあるんですかね。

【事務局】 はい。

【石井部会長】 そうすると、分からないまま設定して今回達成できなかったというのは150件とか、そういうのは無茶な数字ではなくなるというところでよろしいでしょうかね。

あと、これも意見ではなくて質問になってしまうんですけれども、千葉市の千葉市民ゴルフ場があるじゃないですか。あそこと何か連携とかできたりはするんですかね。そこで何か案内を出しておいて、そのゴルフ場に來た人の家族にこっちに來てもらうとか、ちょっと今思いつきだったので申し訳ないんですけれども。あそこも千葉市が関係していますよね。

【公園管理課運営調整担当課長】 そうです。市民局が管理している施設ですが、連携について考えてみます。

【石井部会長】 第3多目的グラウンドについては、成果指標ということを次の指定管理期間のときには検討いただいて、本来のスポーツ施設としての利用、これの促進に努めていただきたいなというところでございます。

では、続きまして、資料14-1、スケートパーク等について御意見、御助言などをお願いいたします。お願いします。

【観音寺委員】 こちらは第3多目的とは別で、企画というか非常にいい施設ですし、我々も整備段階というか、一番最初は何もないところを見させていただいた中だと感慨深いものがあります。やったのは2年ですか、今。

【公園管理課】 今のところ2年です。

【観音寺委員】 そうですね。数字でも評価でAというのも見えて、総合評価もBということで、非常にいいスタートを切ったなと感じます。導入効果についても、当初の見込みを上回る効果が達成できたというところに○がついたのはすごくよいことだなと思っています。

やっぱり当初どうなるのかなと思って見ていましたが、やっぱり運営する方々と利用者の目線が近いというお話だとか、当初からマナーにかなり厳しくやったことで、言い方は変ですが、ちょっとマナー違反みたいな人が入りづらい雰囲気をつくってきたとか、スタート時点からしっかりコンセンサス取っていったことがよかったと思います。あと、先ほど説明あったとおり、コンセプト、ターゲットをしっかりと明確にしていたことなどが、この数値に出てくるんだというのは、指定管理者だけじゃなくて、千葉市としても非常にいい経験になったんじゃないかなと思います。

私も視察させていただいたときに、市原から來ていて、すごくここいいよと話をされている

若者と話をしたんですけれども、やっぱり皆さんマナーがよくて、端から見てもいい施設だなと思いました。

ちょっと今年少し数字が減ったということですが、いろいろな大会だとかコミュニティーを強化する中で、イベント講習会などもやっていくということなので、このあたりを強化しつつ、ぜひ継続して今の環境を維持するように千葉市さんとしても尽力していただければと思います。

以上です。

【石井部会長】 ありがとうございます。

いかがでしょうか。

【霞委員】 私も全く同じ印象で、もう既に一定のニーズをつかんでいらっしゃると。非常に特徴があるという施設ということで、もう誇っていいのではないかというふうに思っております。

このままこのような形で継続していただければというふうに考えます。

【望月委員】 こちらは逆に目標数値の設定がよく分からない中でやってみた、ブーム、この競技の人気に乗かって、思いのほか達成できてしまったといった面があるかと思います。将来、また別の波がやってきたとき、逆に落ち込んでしまうこともなきにしもあらずなので、そのあたりも踏まえて、来年度以降はこの数値目標を見直すことをお願いしたいと思います。あと、ここは自主事業が赤字になっているので、ある程度見えてきたところで自主事業のほうにも本格的に取り組んでいってもらいたいと思います。

【石井部会長】 14-1の総合評価のところの成果指標の目標達成Aとなっていますし、総合評価もBとなっていますが、これはここの都市局のやっている、我々がやっている中で、今までありましたか、成果指標Aとか総合評価Bというのは。

【公園管理課運営調整担当課長】 あまりないかもしれません。

【石井部会長】 ですよ、というぐらい非常にうまくいったのではないかなということで、指定管理制度の成功例と言っていい、評価できるんじゃないかなと考えているところです。

あと、このスケートパークがうまくいっているということで、ほかの自治体とかからの視察とかというのもあったりするんでしょうか。

【公園管理課】 去年視察が1件、それはどこ。

【公園管理課】 沖縄ですとか、沖縄は2年連続来ました。ちょうどエックスゲームズが千葉で、日本で初めて開催されて、これちょうどオープンのが第1回で、3年連続開催する権利

を得ていますので、今年度もやって、今年度で終わっちゃうんですけれども、その関係でタイミングも非常によく、全国から注目していただいたりとか、県外からも来ていただいたとかのきっかけにはなっています。

直接こちらで対応しなくても、視察に来たいんですと電話で、御案内必要ですか、いや、いいらないんで、見る許可だけください、ああ、どうぞ、みたいなものともありました。公式に訪問されたのは沖縄から1件いらっしゃっています。問合せはちょこちょこいただいていた。

【石井部会長】 その総合評価を踏まえた検討でも、当初の見込みを上回る効果が達成できたということで、これもなかなか見ないところで、非常によかったのかなと思います。

ですので、引き続き指定管理者継続して、次年度以降もきちんと対応いただきたいなと思います。

これ今までバラバラでしたけれども、次の期間からは全部まとめて全体でということになりますでしょうかね。

そうすると、評価もそれぞれ個別のものもあるものの、評価としては1つで、全体でどうかということでしょうかね。

そうすると、今回はスケートパークよかったですねという話で終わるんですけれども、次のときからはほかのゴルフのほうとも一緒になりますし、ジェフの関係とも一緒になりますし、その辺で今までと違った形になるのかなというところがあります。

なので、それらを踏まえての次の指定管理の選定のときに基準とか成果目標とかいろいろ御検討いただければなど。今回個別にやっちゃいましたけれども、全体でというのが大きく変わってくるのかなと思います。

そうすると、自主事業もどの部分の自主事業じゃなくて、全体での自主事業という評価になると思いますので、また今までとは見方も変わってくると思います。

あと、蘇我スポーツ公園は、これでもう全部が整備が一応完了したということでしょうかね。そうすると、全体完了したことを踏まえて、指定管理、新たなところになるのか、引き続きになるのか、対応していただきたいなというようなところで。

ただ、この整備が結構期間が長くかかっていますから、施設として新しいところと古くなってしまっているところ、差が出てくるかと思うので、その辺も市としての対応を考えていただければなというところ。

それと、スポーツ施設だけでなく、園地の管理というのも今回加わって非常によくなったという評価出ていますので、それも引き続ききちんとしていただければなど。その辺は成果

の指標という数字では出せないのかもしれないんですけども、何か項目で入れられるといいのかなという気はするところですね。例えばアンケートを取って、そのアンケートの評価でこうとかいうのも1つの目標にしてもいいのか、人数だけじゃなくて、というようなところもありました。

最後、すみません、ちょっとまとまらなかったですけども、そういった次年度以降は個別ではなくて、全体としてどうかというところを踏まえての御検討をいただければと思います。

では、7、総括、(3)都市局指定管理者選定評価委員会の意見ですが、先ほどいただいた御意見等も含め、部会の意見といたします。

なお、市に対して答申する際の文言等の整理につきましては、私と事務局のほうに御一任いただければと思いますが、委員の皆さん、よろしいでしょうか。

はい、ありがとうございます。

以上で、議題(2)千葉市蘇我スポーツ公園、千葉市蘇我スポーツ公園第3多目的グラウンド等、千葉市蘇我スポーツ公園スケートパーク等の総合評価についてを終わります。

本日の議事は全て終了いたしましたので、これをもちまして、令和6年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を閉会いたします。

事務局にお返しいたします。

【公園緑地部長】 すみません、公園緑地部長の小川と申します。

本日は本当に様々な、また貴重な御意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

今後も本日いただいた御意見、さらにはこれまでの運営の中で確認できた課題などをしっかりと踏まえて、利用者目線、または幅広いスポーツ振興、さらには地域の活性化に向けて施設の適正な管理に努めてまいりたいと思います。

本日はお忙しい中、本当にありがとうございました。

【都市総務課長補佐】 それでは、本日の会議はこれにて終了させていただきます。

【観音寺委員】 ごめんなさい、1点だけ質問してもいいですか。

説明があつたのかもしれないんですけども、スケジュール感は、来年度公募するんですね、ごめんなさい、今年度、いつぐらいなんですか。

【公園管理課運営調整担当課長】 まず、7月下旬に募集要項を審査させていただきます。

【観音寺委員】 それは。

【公園管理課運営調整担当課長】 委員会のほうでまた御審議いただいて、8月中旬ぐらいに

公表させていただきます。また10月に委員会で候補者の審査をしていただく予定としております。

【観音寺委員】 目標設定の数字とかというのはどの辺で出てくるんですか。

【公園管理課】 7月の選定の際にこちらから御用意したのをまず諮らせていただきます。

【観音寺委員】 そこで議論するということですか。

【公園管理課】 そうですね、前回のときももうちょっとこうしてくださいとか、もうちょっとこういう指標はありませんかという御意見をいただいて、変更させていただきました。

【観音寺委員】 では、その余地は一度あるんですね。

【公園管理課】 あります。

【石井部会長】 それは7月25日。

【公園管理課】 はい、そうです。

【観音寺委員】 10月に審査のプレゼンとヒアリングがあるのですか。

【公園管理課】 実際のヒアリングを、そうです。

【石井部会長】 10月は10月23日ということでよろしいですね、伺ってるのが。それはまだ皆さんには伝わっていなかった。

【都市総務課】 皆さんに全てお伝えしてあります。

【都市総務課長補佐】 ありがとうございます。よろしいでしょうか。

では、本日の会議はこれにて終了させていただきます。

委員の皆様、本日はありがとうございました。

午後 4時44分 閉会